



Web Fairy Paradise

第62号

改訂版2013/8/25

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第54回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第55回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第69回 推理将棋出題
- ・ 第70回 推理将棋出題
- ・ 王手が9割(一乗谷酔象)

結果発表

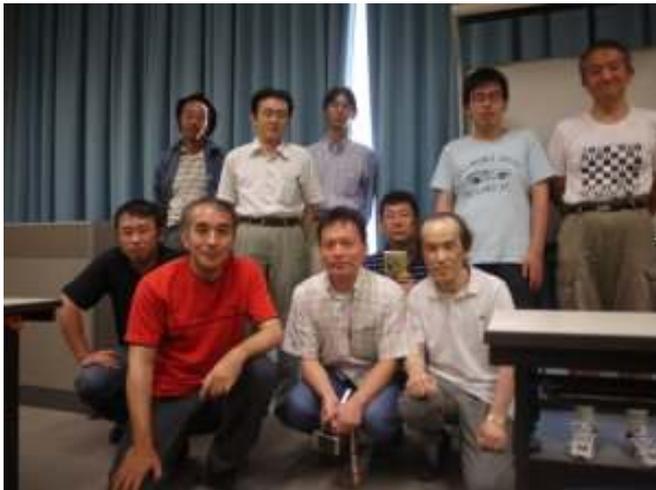
- ・ 第53回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第68回 推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest#36
- ・ JIGSAW BOX#08

読み物

- ・ 蔵書一代(神無太郎)



2013/8



第 15 回詰四会

8月18日(日)に香川県宇多津町のユープラザうたづにて第15回詰四会を開催しました。早いものでもう8年目なんですね。メンバーはほとんど詰備会とかぶっていますので年4回開催しているような感じですか。

今回は初参加で洞江君が来てくれました。吉岡さんや元水さんも来られていたのでフェアリスト4名と賑やかでした。会が始まるや否や盤面に並べられたのは洞江作 Messigny 協力詰(欧州ルール)9手でした。すぐさま私が呼ばれ解図開始でしたが・・・

たくぼん「Messigny ってどんなルールでしたっけ？」

いろいろなルールをやっていると頭の中はごちゃごちゃでいちいち覚えていないのが50過ぎのおじさんなんです。

他のメンバーが尻込みする中、私と竹村さんが主に考えます。途中でヒント(ある催しにエントリーしようとした作)を貰いながらもなかなか解けず。最後には詰上りを想定して逆算で詰め様と並べたところ、閃いた竹村さんが正解を出しました。なかなかの好作でぜひ詰四会作品展(無謀にも詰パラに掲載させようという案も)にとお願いしましたが、お師匠さん(真Tさん)に相談してOKを貰わないといけないとの事。まだまだ改良の余地があるかもしれないんです。出来たらすぐ投稿しちゃう誰かさんとは違いますね。関心させられました。多分WFPのどこかで掲載されると思いますのでぜひ解図してみてくださいね。

今回も出題満載です。解答にぜひチャレンジをお願いします。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第61号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供 : 幻想素材サイト First Moon

<http://www.first-moon.com/>

*表紙のイラストを使用させて頂いております。

第54回WFP作品展(再掲)

第55回WFP作品展出題 担当：神無七郎

今月は成駒が生駒に戻るルールのお話をします。とは言っても、最初はそんな風には聞こえないかもしれません。なぜなら、これからするのはシリンダー（円筒）盤と呼ばれる変則盤の話だからです。

盤を変形させて上下や左右を繋ぎ、円筒形にする変則盤を使う将棋は、変則将棋の一種としてかなり昔から提案されてきました。私も高校時代「円柱将棋」（盤の左右を繋いだ盤を使う将棋）で遊んだ記憶があります。初手 96 歩が定跡になったり、飛 1 枚の両王手が出現したり、穴熊を逆サイドから攻略されたり…など、普通の将棋とはちょっと違う感覚が楽しめました。詰将棋の世界でもこのような円筒盤を使うことはしばしば提案されてきましたが、実際の作品となると、めったにお目にかかれませんが、数少ない実例の一つに、上下と左右の両方を繋いだドーナツ盤で作られた詰将棋があります。

〔ドーナツ盤の詰将棋〕

小林博・山岸則雄（カピタン 1977 年 11 月）

ドーナツ盤ばか詰 3手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								我	一
								糸 糸	二
								王	三
							糸		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角 金

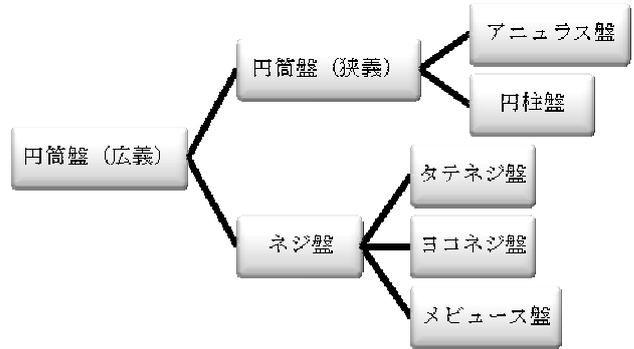
この作品は「おもちゃ箱」の「カピタン・リバイバル」（<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/kapitan/kp042.htm>）でも紹介されているので、ご覧ください。この種のルールで公式に発表されたものとしては、これが最古の作品ですが、円柱盤より先にドーナツ盤の方が先に発表されるとは、フェアリーの世界は過激ですね。

円筒盤はどこをどう連結するかによって、いくつものバリエーションを生み出せるのですが、草場純氏がカピタンに発表した「フェアリー盤

シリーズ」の第4回には次の分類表が掲げられています。

〔円筒盤の分類〕

草場純（カピタン 1982 年 1 月）



「ネジ盤」は盤を繋げるときに同じ筋や段同士を繋げるのではなく、1筋は2筋と、2筋は3筋と…というようにずらして繋げていくものです。ずらし方は1つずつから8つずつまでバリエーションがあります。「メビウス盤」（以下では「メビウス盤」とします）では1筋は9筋と、2筋は8筋と…というように反転して繋げていきます。9つの筋や段から任意に繋げる組を定義することも可能ですが、円筒というイメージから大きく逸脱するためか、この一覧には含まれていません。また、この後の連載では更に過激な「トラス」「クライン」「十字帽」まで登場します。

ところで、上に登場する盤のうちメビウス盤は更に分類できる可能性があります。分類の方法は、盤に沿って駒が動いたときに駒の所属や裏表が変わるかどうかです。例えば、上下を繋いだ縦メビウス盤で攻方の龍が1段目を通過し、9段目から顔を出したとします。そのとき龍は龍のままか、龍を裏から見た飛にすべきか、どちらでしょう？（後者は盤そのものが変形して盤の端がくっついているというより、盤とは別に捻ったりボンがあって、盤の端同士を繋げるイメージを思い浮かべれば良いと思います。）

ルールの整合性を考えれば、龍のままの方が難点は少なく済みますが、せっかくメビウス盤を使うのです。多々問題はありますが、成駒が生駒に戻る可能性があった方が面白そうです。更に、横メビウス盤では駒の所属まで変えられます。これは成駒・生駒の状態の変更より問題が多そうですが、上手く整合性のあるルール設定ができれば、面白いルールになるでしょう。

いずれにせよ、この種の変則盤による作品は

現時点では多くありません。逆に言えば、ルール設定も含め、未開の要素がたくさんあるので、そのポテンシャルは計り知れません。今月は「縦シリンダー盤」を使った作品が登場するので、これを機会に円筒盤を使った作品の創作や、ルール設定に関する提案などをお寄せください。

さて今回の WFP 作品展は第 54 回の再掲と、第 55 回の新規出題です。

第 55 回は全 14 題。問題数が多いだけでなく、内容も充実しています。その分解するのは大変ですが、解き甲斐があることは保証します。前述した「縦シリンダー盤」については、やや特殊なルール設定もあるので、補足説明を読んでから解いてください。

また、第 55 回の出題は長編 3 題を除いて、担当の主観的な難易度順に並べています。同じルールの作が散らばっていて見にくいかもしれませんが、難易度を予想する際の参考になると思います。

〔第 54 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 54 回出題は変寝夢氏の作品 2 題、橋圭伍氏の作品 8 題、一乗谷酔象氏の作品 1 題の計 11 題の出題です。

54-1 と 54-2 は変寝夢さんによる PWC + 天竺 + フェアリー駒という作品。天竺はフェアリーランドで「鏡」と呼ばれているルールと同じですが、これが PWC やフェアリー駒と合わさるとどうなるでしょうか？ 作者自身が用意された例題をご覧くださいませ。

〔例題〕 変寝夢氏作

PWC 天竺協力自玉詰 6 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								夜	一
									二
									三
									四
									五
		王							六
									七
									八
			王						九

持駒 なし

【解答】

84 夜 34 玉 42 夜 15 玉 78 夜 36 角
まで 6 手

(詰上り)

										9
										8
										7
										6
										5
										4
										3
										2
									王	1
										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

初手から 4 手目までは天竺ルールで玉がナイトライダーの性能になり盤上を飛び回ります。PWC の効果が明らかになるのは最終手 36 角。これが PWC の効果を見越した一手です。このとき、攻方玉は天竺の効果で角の性能ですが「同王」とは取れません。なぜなら取られた角は 69 に復活し、攻方王に王手を掛けているからです。では、ナイトライダーで取るのは？ いえ、これもダメです。「同夜」とすると角は 78 に復活し、やはり自玉への王手となります。取れそうで取れない最終手とそれに向けて準備を整える手順が本局の狙いでした。

今回の出題ではこの例題のように、PWC と天竺の合わせ技が出てきます。フェアリー駒を使っていることもあり、短い手数でもなかなか手ごわいかもしれません。

54-3 ~ 54-10 は橋圭伍氏によるキルケ協力自玉詰のシリーズ作品。星の名前による命名もシリーズ物らしく統一性がありますね。シリーズ共通の狙いは一体何なのか。それは実際に解いて確かめてください。

54-11 は一乗谷酔象氏による推理将棋。夢の「全格巡り」が条件になっています。53B-7 と同様「真似将棋」が主題ですが、もちろん手順は異なります。

本局には手順限定のため多くの条件が付いていますが、本質的には「真似将棋で全格巡り」が主題ですので、条件の 1) ~ 4) さえ満たしていれば 1 問分正解として計上します。全条件を満たしていれば 2 問分計上します。

〔第 55 回作品展各題への補足説明〕

第 55 回出題は DD++ 氏の作品が 1 題、変寝夢氏、上谷直希氏、橋圭伍氏の作品が各 3 題、神

ます。

ただし、飛1枚で両王手が掛かるので、最終飛の打ち場所は非限定じゃないかと考えたら、それは間違いです。別の場所から飛を打つと、1)では21玉、2)では21玉と逃げられてしまいます。駒1枚の両王手はシリンダー盤の特徴の一つですが、通常の両王手と同様、万能ではありません。

さて、ここで今回の「縦シリンダー盤」についての重要なルール設定を説明しておかねばなりません。それは「**通過成**」ができるということです。

通常、駒が成るには、駒の元の位置か、駒の移動先が可成地点でなくてははいけません。しかし、今回の出題では飛角香のような走り駒が可成地点を通過するだけで成れるというルール設定で作られています。例えば上の例題では、

74角 19玉 **28角成!**

と進めることも可能なわけです。これは2)の解の説明図で灰色に塗った利き筋を辿ると分かりやすいと思います。この利き筋は途中で63・42・51という可成地点を通過するため、出発地点の74と到着地点の28が共に可成地点でなくとも成れるというわけです。

私の調べた範囲では、過去に発表された「縦シリンダー盤」でこのような「成」の概念を使った作品はなく、該当する用語もありませんでした。そこで今回はこれを仮に「**通過成可**」と表したいと思います。実際に手順表面に通過成が現れるかどうかは別として、ルール設定がそうなっていることを念頭に解図をしてください。

55-5 と **55-6** は、橘圭伍氏によるキルケ協力詰の小品。**55-13** という大ボスに挑む前に、ぜひとも解いておきたい作品です。

55-7 と **55-8** は、上谷氏が最近研究を進めている複合マドラシです。キルケとマドラシは各ルールの効果を独立に考えることができますが、背面とマドラシの組み合わせの場合、どちらを先に評価するかで挙動が異なる場合があります。今回の作品はルール名通り「背面」→「マドラシ」の順に利きの変化を評価してください。複合マドラシについてはWFP55号の「裸玉鑑賞」の記事や第49回WFP作品展等で取り上げられているので、これを読めばルールの詳細や手筋などについて知ることができます。

55-10 と **55-11** は、神無太郎氏による性能変化系の協力自玉スタイルメイトです。両者とも

かなりの難問ですので、心して取り組んでください。

55-12 は、非標準駒数+取禁条件による長手数裸玉作品です。手数が長いので後ろに置きましたが、論理的に解けば、スッキリと解決するはずで、命名も有力なヒントになっているので、怖がらずに挑戦してみてください。

55-13 は、作者のキルケに対する情熱と確かな技術の蓄積が結実した大作。「世界線」という命名に作者は何を込めたのか。ぜひ、ご自身の手で解いて確かめてください。

なお、この作品は受方持駒制限があります。指定された駒種・駒数の範囲で解いてください。

55-14 は、第55回の記念にDD++氏が送ってくださった「午後のマネ将棋」です。果たして「55」にちなんだ条件から、どんな手順が飛び出すのでしょうか？

解答要項

解答締切：

第54回：2013年9月15日（日）

第55回：2013年10月15日（火）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。f m検討済みなら.fmo形式のファイル添付を推奨します。

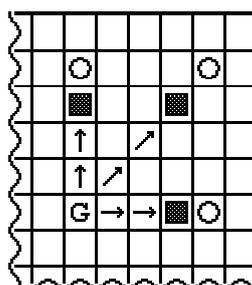
ルール説明

【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）

【グラスホッパー】(G)

フェアリーチェスの駒。クイーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○がGの利き)

【天竺】

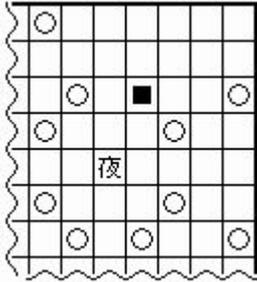
玉(王)の利きが王手をした駒の利きになる。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【ナイトライダー】(夜)

フェアリーチェスのナイトライダー(夜)。ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるところから先には利かない。)

【キルケ】

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【縦シリンダー盤】

一段目と九段目の同じ筋同士が繋がった盤。(今回の作品はすべて「通過成可」の設定)

【マドラシ】

同種の敵駒の利きに入ると、利きがなくなる。

【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト(王手は掛かっていないが合法手のない状態)にする。

【対面】

敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入れ替わる。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

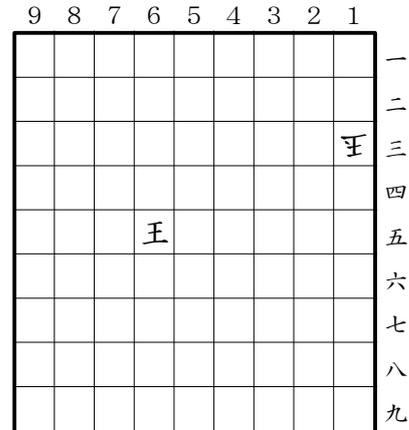
【取禁】

手順中に駒を取る手があってはならない。(ただし「詰」の概念は駒を取れないことを前提としない。あくまで手順中に駒取りの手が現れないだけ。)

《第54回 WFP 作品展》(再掲)
解答締切：2013年9月15日(日)

■ 54-1 変寝夢氏作

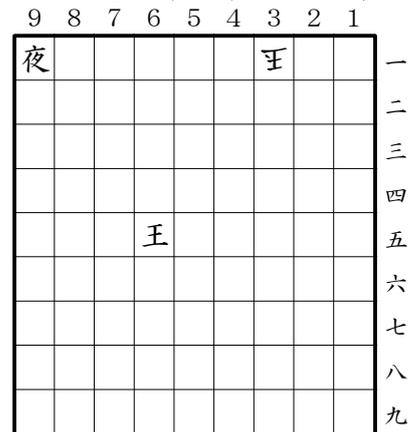
PWC天竺協力自玉詰 6手



持駒 G 銀

■ 54-2 変寝夢氏作

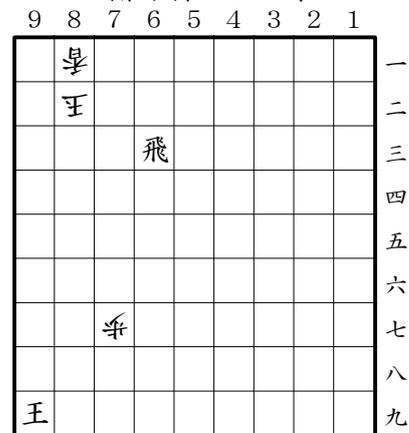
PWC天竺協力自玉詰 10手



持駒 なし

■ 54-3 橋圭伍氏作「Arcturus」

キルケ協力自玉詰 8手



持駒 飛

■ 54-4 橘圭伍氏作「Procyon」

キルケ協力自玉詰 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
銀			歩	王					六
									七
王									八
									九

持駒 香

■ 54-7 橘圭伍氏作「Mizar」

キルケ協力自玉詰 20手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王									一
馬									二
									三
	王	歩		歩					四
				歩	歩	王	金		五
			銀					香	六
		銀	歩		王				七
					桂	桂		香	八
					金	銀	又	歩	九

持駒 角

■ 54-5 橘圭伍氏作「Alnitak」

キルケ協力自玉詰 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
				歩					三
									四
	王								五
									六
王									七
									八
				飛					九

持駒 なし

■ 54-8 橘圭伍氏作「Castor」

キルケ協力自玉詰 22手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								馬	二
									三
						王			四
									五
と	歩	金							六
香									七
歩	王	歩							八
香		桂	金						九

持駒 なし

■ 54-6 橘圭伍氏作「Capella」

キルケ協力自玉詰 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
王							飛		六
									七
王									八
									九

持駒 なし

■ 54-9 橘圭伍氏作「Pleiades I」

キルケ協力自玉詰 28手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
				歩					二
		歩	王						三
歩	香	香							四
王									五
桂	桂	歩	歩		又				六
と				歩	桂				七
							歩	飛	八
		又	角						九

持駒 なし

■ 54-10 橋圭伍氏作「Pleiades II」

キルケ協力自玉詰 44手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	將									一	
と			ス							馬	二
											三
	王										四
											五
と		銀		歩							六
	香									驥	七
香		歩	歩	桂							八
王		香	飛	馬							九

持駒 なし

■ 54-11 一乗谷酔象氏作

推理将棋『81格巡り』

「全国行脚の旅もいよいよ終盤だ。ここまでの旅路を振り返ってみよう」
 「長旅は最初が肝心。歩を進める前に自陣の整備から始めましたね。最初は歩以外の駒を10回動かし、そのとき着手した筋は左の方から右の方に移っていきました。一つの駒を3連続動かす手もありました」
 「そうだ。歩の手は慎重に指した。先手の最初の歩の手は21手目、2回目の歩の手は29手目だった。その後に、異なる7つの筋の歩を左側から右側の順に続けて1路ずつ進める一連の手順もあった」
 「こんな一連の手順もありました。先手は一つの駒を3回続けて動かした直後に4回続けて一つの駒を動かし、さらにその直後、5回続けて一つの駒を動かしました」
 「この将棋、駒を取る手もなく先手の不成は1回だけだった。そして、君はこれまでずっと私の指し手を真似して、あとをつけてくれた。感謝するよ。でも、真似将棋とはこれでお別れだ。次は先手番の79手目。中央の手を指すから後手の最終着手は自力で最善手を発見してごらん」
 「それでは、80手目はここに・・・」
 「そうくるか。じゃあ81手目は81地点の手を指して詰んでるね。しかも81全格巡りを達成だ」

81格巡りとはどのような将棋でしょうか？
 会話を元に手順を推理してください。

条件

- 1) 81手で81カ所に着手して81地点の手で詰んだ
- 2) 78手目まではマネ将棋
- ※3)以下は先手側の着手条件
- 3) 駒を取る手なし
- 4) 不成は1回だけ
- 5) 初手から19手目迄は一つの駒を3回続けて動かす手を含め、歩以外の駒を（自分から見て）左の筋の方から右の筋の方に着手（続けて同じ筋は可）
- 6) 歩の着手の1回目は21手目、2回目29手目。それ以降に、左の方から右の方へ異なる7つの筋に連続して歩を着手する一連の手順があった
- 7) 一つの駒を3回続けて動かし、その直後4回続けて一つの駒を動かした。さらにその直後、5回続けて一つの駒を動かした。

※本問では全条件を満たさなくても、1)~4)の条件を満たせば準正解として扱います



《第55回 WFP 作品展》

解答締切：2013年10月15日（火）

■ 55-1 上谷直希氏作

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								一	
								二	
								三	
								四	
								五	
						王		六	
							歩	七	
						馬	王	八	
							桂	香	九

持駒 桂3

■ 55-2 神無太郎氏作（※4解）

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
		歩					歩	三
						科		四
						王		五
馬								六
								七
								八
							馬	九

持駒 飛

■ 55-3 変寝夢氏作

縦シリンダー盤協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
						馬		三
						王		四
								五
								六
						飛		七
								八
								九

持駒 角

■ 55-4 変寝夢氏作

縦シリンダー盤協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
角								二
								三
								四
								五
						王		六
						香		七
								八
角								九

持駒 なし

■ 55-5 橋圭伍氏作

キルケ協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 香

■ 55-6 橋圭伍氏作

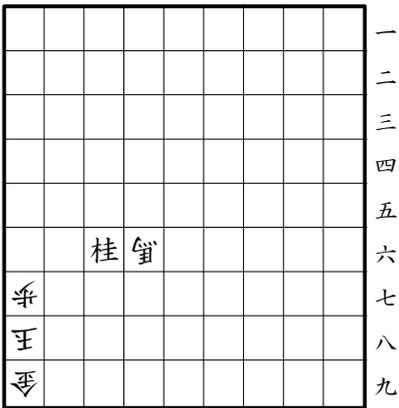
キルケ協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
						王		二
						科		三
						馬		四
						龍	馬	五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

■ 55-7 上谷直希氏作

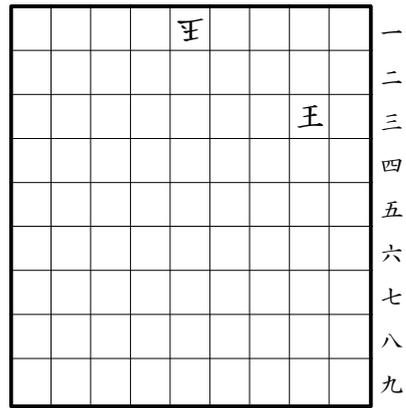
キルケマドラシ協力詰 5手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛角

■ 55-10 神無太郎氏作

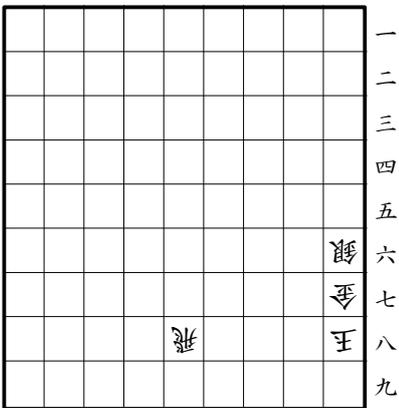
対面協力自玉スタイルメイト 10手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛2角桂2

■ 55-8 上谷直希氏作

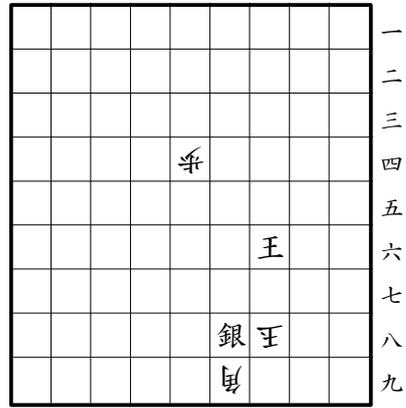
背面マドラシ協力詰 5手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 角金銀

■ 55-11 神無太郎氏作

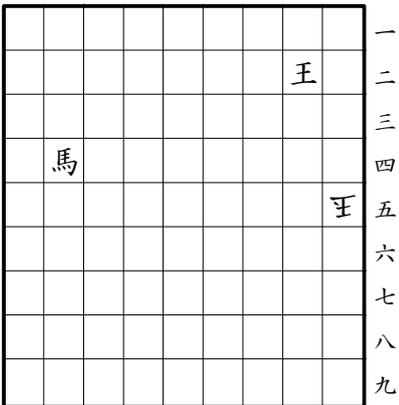
安南協力自玉スタイルメイト 12手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 角香2歩

■ 55-9 変寝夢氏作

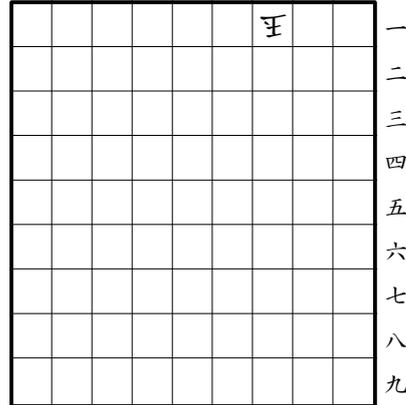
縦シリンダー盤協力自玉詰 8手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

■ 55-12 神無太郎氏作『柔らかな回廊』

取禁協力詰 83手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 飛
受方持駒 金20

■ 55-13 橋圭伍氏作『世界線』

キルケ協力自玉詰 180手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

馬		馬		馬						一
		手		歩	と				馬	二
王	歩		ス	歩	歩				香	三
									王	四
馬										五
								香		六
					垂	馬	金	桂		七
					桂	桂	銀	歩		八
										九

攻方持駒香
受方持駒なし

■ 55-14 DD++氏作

推理将棋『午後のマネ将棋』

「昨日午後、道場で指してたら真似将棋を仕掛けられたんだ」

「それって1手負けるだけだと思うんだけど。でも君のことだ、ただでは済まさないだろう？」

「ああ、もちろん屈辱的になるよう 55 地点の手で詰ませたよ。それも 55 手目にして 55 ヶ所目の着手だった」

「あいかわらず君は意地が悪いなあ。どんな手順だったんだい？」

「駒取りはなかったね。着手した駒は5種の生駒だけで、最終手以外は安い順に着手したよ。歩は互いに自分から見て右側にあるものから順に着手して、玉の手は歩の手より多かった。飛車の手は縦に動く手が横に動く手より4手多かったね。さあこれでわかるだろう？」

「……あいかわらず君は意地が悪いなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか。

条件

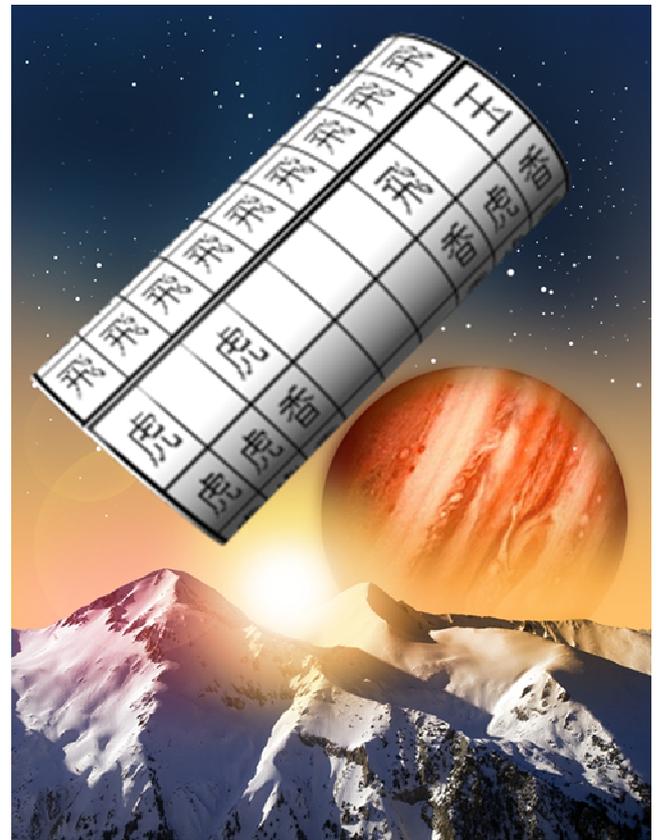
- 1) 55 手で 55 ヶ所に着手して 55 地点の手で詰んだ
- 2) 駒取りのない真似将棋
- 3) 着手された駒は5種の生駒だけで、最終手を除いて安い順に着手した
- 4) 歩は互いに自分から見て右側にあるものか

ら順に着手した

5) 飛車の手は縦に動く手の方が横に動く手よりも4手多かった

6) 玉の手は歩の手より多かった

以上



「縦シリンダー盤」のルールに関する補足

第 55 回 WFP 作品展で出題された「縦シリンダー盤」は「通過成」（原位置と移動先が可成領域でなくても、可成領域を通過すれば成れる）ができる設定ですが、それに関して以下のような質問を戴きました。本来なら出題時にきちんと説明しておくべき事柄ですが、遅まきながらここに補足します。

〔質問の内容〕

「縦シリンダー盤」「通過成可」のルール下で、例えば 19 香を 18 に動かすときに、直接 19 から 18 に行く手と、盤を一周して可成領域を通過してから 18 に行く手があるとす。このとき、

- 両者はそれぞれ「18 香」「18 香生」と表記するのか？
- これは余詰（非限定）とならないか？

「通過成」自体が新しい概念ですので、ルールの設定の仕方はいろいろあると思いますが、今回の出題に関しては、これは非限定ではなく、表記も単に「18 香」としてください。理由は以下の通り。

- 直接動いても、一周して動いても同じ局面になるので、生での一周は「余分な周回」になり、無視できる。（二周や三周余分に動いたのと同様の扱い。）
- 「生」を付けるかどうかは、あくまで表記上の問題。（「成」は駒の性質が変化するので、表記の問題で済まない。）

もちろん、「成れるのに成らなかった」と「元から成れない」を厳密に区別するルール設定も可能だと思いますが、今回の出題作品に関してはこのルール解釈で解図して戴くようお願いします。

推理将棋第69回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第69回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2013年8月20日までにTETSUまで

(omochabako@nifty.com) メールのお題名は「推理将棋第69回解答」をお願いします。

推理将棋第69回出題 担当 DD++

先日、初めて詰将棋全国大会に参加いたしました。当コーナー常連解答者や黎明期からのスイリストの方も数名いらっしゃって、たいへん楽しい時間を過ごさせていただきました。お会いした皆様、またスタッフの香龍会の皆様、どうもありがとうございました。

さて今月の出題ですが、9手11手11手と比較的短めなのでヒント前完答のチャンスかもしれません。初級は9手マイスター渡辺さんから、先々月とセットの問題で、今度は41の飛車で、それも不成で詰める問題です。中級はチャンプさんから、今月もまた着手筋制限系の問題、今度は6筋ですがさて。上級は鈴川優希さんから、昔はよく見られた系統の問題なので推理将棋が長い方には簡単かもしれませんが、そうでない方は新鮮に感じることでしょう。

次回出題の94形式問題も引き続き募集しておりますのでよろしくお願い致します。

■練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△52金左▲33角成△41玉▲43馬△32銀まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

■本出題

69-1 初級 渡辺秀行さん作
41 飛生迄で詰み 9手

41 飛生で詰む形はどんな形？

69-2 中級 チャンプさん作
少年の将棋は？(その4) 11手

詰め上がりが思いつかないと上級より苦勞するかも。

69-3 上級 鈴川優希さん作
プライドの代償 11手

まずは先後それぞれ何回角不成を指すのか、から。

■締め切り前ヒント (8月13日 DD++)

締め切り前ヒントです。

初級：飛を取るの32地点。居玉のまま二段目を後手金銀で埋めましょう。

中級：実は先手も1つの筋の着手だけ。さりげない居角のアシストがポイント。

上級：打った55飛の利きを使って詰み。後手は99で取った香を有効活用しましょう。

69-1 初級 渡辺秀行作
41 飛生迄で詰み 9手

「さっきの将棋、41飛生まで9手で詰んでいたね」

「そうだね、3筋への駒打より後に5筋の着手があったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・41飛生まで9手で詰んだ
- ・3筋への駒打より後に5筋への着手があった
- ※ もちろん41飛不成と書いても正解としますのでご安心ください。

69-2 中級 チャンプさん作
少年の将棋は？（その4） 11手

少年A「7手目に君が初めて大駒を動かした将棋、その後どうなったか教えてよ。」

少年B「どうなったと言われても、11手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「後手は6筋のみの着手で同じ駒を連続で動かすことは無かったよ。」

少年A「666・・・これは・・・。」

少年B「どうかした？」

少年A「何も思いつかなかったや（笑）」

少年B「・・・。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

（条件）

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 7手目に初めて大駒（飛か角）が動いた
- ・ 後手の着手は6筋のみで同じ駒を2手連続で動かすことは無かった

69-3 上級 鈴川優希さん作
プライドの代償 11手

「昨日の将棋では、相手が角不成の手を指して挑発してきた。売られた喧嘩は買う、というのが私のやり方。互いに意地を張り続けた結果、計6回も角不成が登場した。しかし、あの三段目の手が敗着で、結局は11手で詰まされてしまった。腹が立つのは奴の五段目の手だ。不成でもないのに角の手でもないのに駒音高らかに指しやがって」

（条件）

- ・ 11手で詰んだ。
- ・ 角不成が6回あった。
- ・ 後手は三段目に着手した。
- ・ 先手は五段目に着手したが、~~不成ではなかった。~~角以外を着手した。

■ 練習問題解答

問題以下、▲52馬△31玉▲42金まで。

かなり珍しいところへ玉を追い込む手順です。31玉に対して33馬22角と2筋から詰める順は作例も多少ありますが、9手で4筋側から詰みというのはもしかしたら作例がないかもしれせん。定番の詰め上がり位置というのがある一方、ほとんど手を付けられていない詰め上がり位置というのも9手ですらまだまだ存在するのです。

というだけでは物足りない方へおまけ問題。この手順は6手目まで公開しないと完全になりませんが、実は角（馬）の中継地点や手の順番を少し変えるだけで、最初の4手を公開するだけで完全限定の問題にできます。さて、どうすればよいでしょう？

推理将棋 69 練習問題 詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金			王	桂	香	
二		飛			馬	金	銀	角		
三	歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩2

推理将棋第70回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第70回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2013年9月20日までにTETSUまで

(omochabako@nifty.com) メールのお題名は「推理将棋第70回解答」をお願いします。

推理将棋第70回出題 担当 DD++

今回は9月（には少しフライングですが）恒例の94形式問題特集です。会話文もなく条件も趣向的な条件にすることが多いため、頭のなかで解くのに適した簡素な形式です。

初級1つめは初登場のしまぎろうさんから、金の手条件4つで筋も明かされているので、94問題らしく手を出しやすい問題になっています。初級その2はNAOさんから、連続王手が条件なので協力詰に近い感覚があるかもしれませんね。最後に中級を渡辺さんから、つかみどころがなく9手としては難しいほうですが、それでも9手ですので中級としました。今月は上級はありません。

■練習問題

「さっきの将棋、▲56歩△54歩▲76歩△42玉▲33角不成△53玉まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

■本出題

70-1 初級 しまぎろうさん作
金遣い 9手

41 飛生で詰む形はどんな形？

70-2 初級 NAOさん作

トドメは空成 9手

連続王手をしながらすべきことは？

70-3 中級 渡辺秀行さん作

4段目の角は何処？ 9手

もちろん条件の全てが詰みに関わる手とは限りません。

70-1 初級 しまぎろうさん作
金遣い 9手

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 4手目は4筋に金
- ・ 6手目は5筋に金
- ・ 7手目は6筋に金打ち
- ・ 8手目は6筋に金

70-2 初級 NAOさん作
トドメは空成 9手

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 3手目は王手
- ・ 5手目は王手
- ・ 7手目は王手
- ・ 9手目は空成

70-3 中級 渡辺秀行さん作
4段目の角は何処？ 9手

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 6手目は6段目
- ・ 7手目は5段目
- ・ 8手目は4段目に角
- ・ 9手目は3段目

■ 練習問題解答

問題以下、▲66 角成△64 玉▲75 馬まで。

9 手から登場する特徴的な詰みに中段玉があります。歩頭に馬のパターンと角 2 枚を使うパターンがあり、玉位置は 4ヶ所。この例題は 64 で詰みですが、さて他の 3 箇所はどこで、それぞれどんな手順で詰むのでしょうか？

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	一
	飛						馬		二
歩	歩	歩	歩		歩		歩	歩	三
			王	歩					四
		馬							五
		歩		歩					六
歩	歩		歩		歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

【懸賞問題】王手が 9 割

一乗谷酔象

「推理棋神戦の決勝戦、見たかい？ 凄い熱戦だったね」

「王手王手の応酬がすさまじい将棋だった。なにしろ、着手の 9 割は王手だったからね」

条件

- 1) 実戦初形からはじめて、王手率が 90% 以上に達して詰んだ。
- 2) 同一局面なし

はたして、解はあるのだろうか？

※王手率：全着手中の王手の割合

※手順発見型、最短手数探索型の将棋パズル問題です。非限定は許容します。

※王手 9 割以上達成された方、全員に商品（酔象駒）を贈ります。

- ・ ♪ 切りまで未だ日がありますが、(8 月 17 日現在)既に 2 名の方から解答いただいています。
- ・ 手数にかかわらず、解答をお待ちしております。

一乗谷酔象

解答 ♪ 切り：9 月 25 日

解答は下記まで

now2good@auone.jp

第53回WFP作品展結果 担当:神無七郎

第 53 回の作品展は大量投稿があり、2つのコースに分けて出題しました。協力詰特集のAコースと何でもありのBコースです。Aコースの解答は8名。やはり、純粋な協力詰は人気がありますね。

まずはそのAコースの結果から。

〔第53回WFP作品展Aコース成績〕(敬称略)

○：正解 -：無解 ×：誤解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
谷口翔太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
占魚亭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
橘圭伍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
変寝夢	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	10
一乗谷酔象	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	10
DD++	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	8
ぼこ	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	8

Aコースは全 12 題。小林看空氏の作品 10 題と上谷直希氏の作品 2 題。ルールはすべて協力詰、手数も短編ばかりということで、さながら「ばか詰解答選手権・番外編」の趣です。誤無解がちらほら出ている作品はあるものの、総じて皆さん好成績でした。

■ 53A-1 小林看空氏作 (正解 8 名)

協力詰 3 手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二		角								
三			飛							
四										
五										
六					王					
七										
八										
九										

持駒 銀

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【解答】

35 銀 45 玉 65 飛成 まで 3 手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二		角								
三										
四										
五			龍		王	銀				
六										
七										
八										
九										

持駒 なし

【解説】

まずは看空氏の作品 10 題。元々は詰将棋解答選手権の松本会場で行われた「ばか詰解答選手権」用に用意されていた作品で、このときに使用されなかった問題から選ばれています。

本局は軽いウォーミングアップ。空中捕捉の鮮やかな両王手の詰め上がりで、この形を知っていれば一目で解けますが、知らないとき苦戦は免れません。

この形は主に短編で鮮やかな収束を演出するために使われますが、長編でも全駒煙詰に使われた例があります。しかも還元玉！

【参考図】

新ヶ江幸弘『転生』(詰パラ 2001 年 3 月)

詰将棋 95 手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	と	と	香	銀	科		ス	角		
二	卒		馬	歩	香	香				
三			馬		歩	と	進			
四		歩	と	桂	銀	桂	と	龍		
五	銀	歩	と	歩	王	卒				
六	ス	香	香			香				
七		歩		と	科					
八		と								
九							と			

持駒 なし

(※解答は本稿の末尾に掲載します)

有名な素材は有名である分、それをどう使うか、作家にとってはむしろ難しくなります。本局も解答競争という機会がなければ、日の目を見なかったかもしれません。

占魚亭さん
馬が邪魔。

☆ この短評、一瞬意味が分からなかったのですが、そういえば初形の馬の位置に銀を打っていますね。邪魔駒とは違いますが、居場所を譲る駒を表すような巧い表現の言葉はないでしょうか。

■ 53A-3 小林看空氏作（正解 8 名）
協力詰 5手

					王					
						香	飛			
							角			

持駒 なし

【解答】

35 飛 45 金 同香 54 玉 64 金 まで 5手

(詰上り)

					金	王				
							香	飛		
								角		

持駒 なし

【解説】

角金香の基本形にアレンジを加えた作品。「源泉館」第2番に同傾向の作品があります。本局のポイントは、最初に香を動かす紛れに嵌らないこと。そして合駒を飛で取らないことです。

合駒を王手駒以外で取る手は盲点になりがちですが、本局は合駒を取るとき、動く駒と王手をする駒が別になっています。そのため初手の飛による王手が更に見えにくくなっています。作者の作風にもよりますが、開き王手のできる構図を見たら「開き王手するのは畏かも…」と一度は疑って掛かりましょう。

【短評】

谷口翔太さん

まずは香を動かすことを考えた。金合を香で取るのが、お気に入り。

変寝夢さん

A-5 よりも時間かかりました。

橘圭伍さん

少し悩みましたが合駒を香の方で取るのが面白い。これと同じ筋を自分でかしこ詰で作っていたのを思い出しました。協力詰だと 4 枚で出来るんですね……。

DD++さん

飛角杏の 3 枚で詰む形を二晩くらい考えてました。角と杏が連携しないから無理なんですね。

たくぼんさん

やはり金が欲しい所。

ぼこさん

合駒→別の駒で取って空き王手、の形が見えずに大苦戦。締切前日（提出日）まで悩みました。

占魚亭さん

初手二択。

☆ 短評を見るとやや苦戦された方が多いようですね。この後に出てくる 53A-5 は手順の構造が本局と同じなので、こちらはすんなり解けた方が多かったようです。橘さんの短評を読んで、これと同様の筋を普通詰将棋で実現しようとしたら最少何枚でできるかにも興味をそそられました。求む挑戦者！

■ 53A-4 小林看空氏作（正解 8 名）

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
角								
					王			
		金						

持駒 角 銀

【解答】

57 角 47 玉 48 銀 58 玉 68 金 まで 5 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
角								
					角			
		金	王	銀				

持駒 なし

【解説】

既に駒が利いている場所にわざわざ駒を打つ手を「重ね打ち」と呼びます。重ね打ちは駒効率を悪くするので、これが作意に入れられていると、心理的妙手となる場合があります。本局では初手の 57 角がそれ。しかも銀ではなく角を先に使い、遠打でなく短打で使うという多重の不利感があります。更に、角の利き筋に銀という重ね打ちを続けます。

両王手の詰型が見えていれば、このような芋筋も難なく指せるのですが、初形が茫洋として絞りづらい形なだけに、「玉は包むように寄せよ」という感覚で取り組むと、作意に辿り着くのに時間が掛かると思います。

最後の両王手一閃で、すべての駒が一斉に働

くので、解いて気持ちの良い作品です。

【短評】

谷口翔太さん

初手が難しい。両王手で幕、ヤッタぞ、です。

変寝夢さん

これはすつと解けました。芋筋得意なんで。

橘圭伍さん

先に角を打ちのがやりにくいかな。

DD++さん

角の打ち場限定として 13 角からの角成を予想しましたがハズレでした。

たくぼんさん

昔あぶり出しの傑作がありましたね。それを思い出しました。

ぼこさん

形が見えるとあっさり解けることもあるもので・・・5手詰みの中では一番早く解けました。

占魚亭さん

銀 2 枚なら悩まないのに（笑）。

☆持駒角銀の代わりに持駒銀 2 でも完全作です。角と銀では利きの完全な包含関係ないので「角先角銀」という用語はあまり使われないのですが、感覚的にはそれに近いものがあります。

■ 53A-5 小林看空氏作（正解 8 名）

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					王			
					王			
					桂			
		飛						
		角						

持駒 なし

【解答】

75 飛 45 飛 同桂 34 玉 24 飛 まで 5 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						料			三
						王	飛		四
		飛			桂				五
									六
									七
									八
		角							九

持駒 なし

【解説】

これは 53A-3 と同じ構造の作品です。桂の開き王手が見えていますが、いきなり開き王手するのではなく、合駒請求をしてから開き王手でその合駒を取るのです。先に 53A-3 を解いているかどうかで、解図時間が変わってくるでしょう。本局を 53A-3 と比べると、合駒の種類は金から飛に変わっており、合駒を取る駒は香から桂に変わっています。皆さんも構成する駒の種類を変えて、同じ構造の作品を作ってみてはいかがでしょうか。

【短評】

谷口翔太さん

誰か代わり逃げてくれ、それなら簡単。

変寝夢さん

合駒を飛で取る筋は読まないんです。それはないだろうってことで。

橘圭伍さん

A-3 の別バージョン。
これは先の作品を見ていたので直ぐでした。

DD++さん

53A-3 と手口が同じ。めちゃくちゃ悩んだのと類似品だと 2 回目はすぐに見えますね。

たくぼんさん

これはちょっと悩みました。飛合が上手い。

ぽこさん

A-3 と同じパターンだったので片方が解けるとすぐに解けました。

占魚亭さん

一瞬、ソッポを考えました。

☆ 53A-3 のおかげで楽に解けた人が多かったようです。本局単独の出題だったら、どのような結果になったか少し興味があります。

■ 53A-6 小林看空氏作 (正解 7 名)

協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								馬	一
						飛			二
					と				三
				王					四
						飛			五
									六
								角	七
									八
						香			九

持駒 なし

【解答】

35 飛生 44 玉 33 飛成 同飛 54 と まで 5 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								馬	一
						飛			二
					と	王			三
									四
									五
									六
								角	七
									八
						香			九

持駒 なし

【解説】

大駒 4 枚が総登場。ここから手ごわくなる予感がします。でも本局に限っては 53A-3 で見た角金香で詰める基本形が思い浮かべば大丈夫で

す。35 飛成から合駒をさせる筋も有力に見えますが、これはあくまで誘い筋。また、2 手目同飛で角筋を通すのも時期尚早。玉を都合の良い位置に誘導してから、角筋を通すのが好手です。

攻方の手を見ると飛不成から飛成で、きっちり「不成」「成」のペアができています。これは「源泉館」でも見られる作者お得意の構成の一つ。この作者の作品を解くときには必ず出てくるパターンだと思った方が良いでしょう。

【短評】

谷口翔太さん

1,3 手が好手だが、意外と指す手は多くない

変寝夢さん

1 1 角の配置が残念。

橋圭伍さん

返す刀の 33 飛成が素晴らしいです。

DD++さん

これも 53A-3 と詰みの形が同じなのですが見えた。

たくぼんさん

往復する意味で初形 33 飛の方がよさそうだが。

☆ これは一案ですね。元が解答競争用だったことを考えると、初手「54 と」の紛れの強い原図の方が良いと思いますが、33 飛にして形式美を採る考え方もあります。

ぼこさん（※無解）

全く見当が付きません。

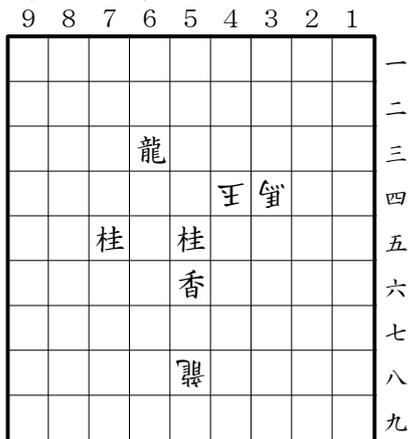
占魚亭さん

飛の捌きがいいですね。



■ 53A-7 小林看空氏作（正解 7 名）

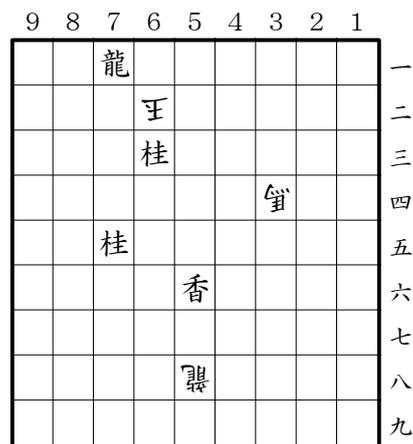
協力詰 5 手



持駒 なし

【解答】

74 龍 53 玉 63 桂右生 62 玉 71 龍 まで 5 手
(詰上り)



持駒 なし

【解説】

ここからは解答競争用というより、普通に「作品」と呼ぶ方がふさわしい作品が並びます。本局は龍のソッポ行きと、桂不成の組み合わせ。特に後者は両王手にできる局面で両王手を避け、単なる開き王手にする、かなり凝った狙いです。協力詰におけるソッポ行きと不成は受方の選択肢を広げる定番の手筋ですが、本局は桂成までの詰筋に誘うことで、うまく紛れを持たせています。

また本局は盤上の駒の増減が一つもありません。詰将棋は無駄駒がないことを仮定して解く裏ワザがありますが、本局のように双方が駒を取らない手順が作意の場合は、これが特に有効だと思います。

【短評】

谷口翔太さん

ソッポに不成、協力詰は楽しいな。

変寝夢さん

初手が入って美しくなるが、逆に解きやすくなった。

橋圭伍さん

桂がそれらしく並んでいるので見えやすいですね。

たくぼんさん

そっぽと不成。ザ・ばか詰。

ぼこさん

これも割と早く解けた問題。
7 5 桂の配置が分かりやすかったかも。

占魚亭さん

桂香のバッテリーを開くには一一と考えれば簡単。

☆ 無解者 1 名。協力詰は変化を読む必要がないので、解けた人の短評だけ並べると簡単な作品に見えますが、決して易しい作ではないと思います。

■ 53A-8 小林看空氏作 (正解 4 名)

協力詰 5 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		飛								一
				科					馬	二
			科	銀						三
										四
					王					五
				桂		香				六
								角		七
										八
					龍					九

持駒 桂

【解答】

34 香 56 玉 76 飛成 55 玉 67 桂 まで 5 手

(詰上り)

										9 8 7 6 5 4 3 2 1
										一
				科					馬	二
				科	銀					三
							香			四
					王					五
				龍						六
				桂				角		七
										八
										九

持駒 なし

【解説】

今回出題された 5 手詰中随一の難問。玉の周りに一つも駒がない、この非接触型の詰上りが想定できるかどうか勝負です。4 段目や 3 段目での詰上りを目指して、迷路を彷徨った解答者も多かったのではないのでしょうか。

解図のヒントは受方の 12 角。香の開き王手を考えたとき、行先は 12 角の利きを止める 34 香ではないか……そう思えば正解に一步前進です。配置面では 56 桂が巧妙です。これは初手から 75 飛成 65 金 同龍 55 合 56 金などの余詰筋を消すと同時に、2 手目の玉の移動先を限定しています。紛れを強くする役目も果たしており、実際に誤解を一つ誘発しました。

本局は多くの誤無解者を出しましたが、この手順を見れば、単なる誤無解狙いの作でないことは納得していただけるでしょう。

【短評】

谷口翔太さん

蜻蛉釣り 香は何処まで 行ったやら。

☆ 元ネタは「蜻蛉釣り 今日は何処まで行ったやら」ですね。作者は加賀千代女…と書こうと思ったら「加賀の千代女について」

(http://haikukan.city.hakusan.ishikawa.jp/c/hiyojo/about_chiyojo.html)には「生涯 1,700 余りの句の中になく伝説と見られる」と書いてありました。

私はこういう分野には疎いのですが、インターネットのおかげで、知らないままだったり、勘違いしたままの事柄について知ることができるのはありがたいですね。

変寝夢さん（※無解）

結局白旗でした。2手目56玉が思い浮かばなかったのが敗着です。

橘圭伍さん

飛を動かして香も動かす手順でないとする意味がなさそうなのでそれを重点的に調べる事で何とか解けました。

たくぼんさん

初手飛成や桂打など紛れが多く。この詰上りは意表を付かれた。

ぼこさん（※無解）

なんか解けそうで解けない形。

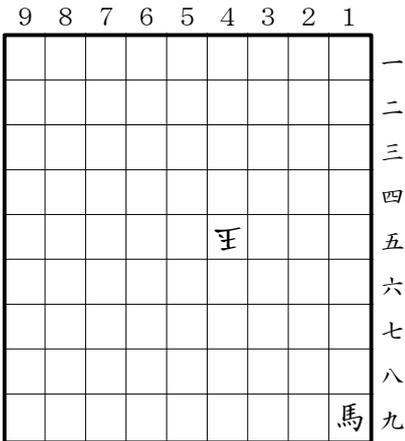
占魚亭さん

初手の限定移動が好感触。

☆一乗谷酔象氏は 32 香成 34 玉 46 桂 43 玉 42 銀成とした誤解。暗算で読んだため、角筋がずれてしまったのでしょうか。無解者も多く、もしこれが解答選手権の作品として使われていたら、誤無解者続出の大惨事になっていたと思います。

■ 53A-9 小林看空氏作（正解 8 名）

協力詰 7 手

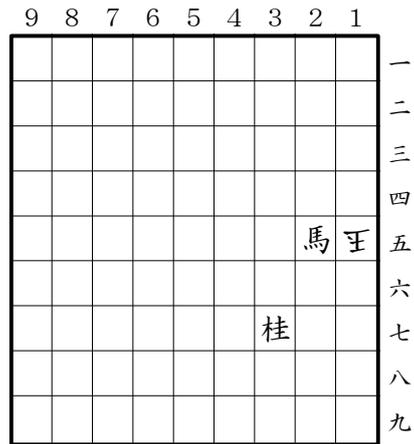


持駒 桂

【解答】

37 桂 36 玉 18 馬 26 玉 36 馬 15 玉 25 馬 まで 7 手

（詰上り）



持駒 なし

【解説】

使用駒 11 枚の前局から一転、使用駒わずか 3 枚という驚きの簡素形です。しかしこれが曲者。端に追い詰めるだけという俗な手順はむしろ盲点だと思います。合駒の筋をさんさん考えてこの手順を見つけたら、「やられた！」と言うしかないでしょう。逆に作意にすんなり入ってしまうと評価は低くなると思います。解図時間も作品評価も極端に分かれる作だと思います。

【短評】

谷口翔太さん

先ずは合駒？を考える。
看空さん、ニヤリでしょうね。

変寝夢さん

こういうのは逆算で解くと速いですね。

橘圭伍さん

A-2 の横 ver です。

DD++さん

2 枚しかないので桂を 2 筋に利かせるように打って腹馬で詰めるのは第一感。
53A の中で一番早かった。

たくぼんさん

この形だけで及第点でしょう。

ぼこさん

桂と馬の 2 枚で詰ますのはこの形以外思いつかなかったのあと逆算で。
早めに解けた方だと思います。

占魚亭さん

端に追い込む。

☆ 「裸玉+1」の超簡素形でそれなりに考えさせる作品を作るのは難しいことです。創作は一種の心理学。誰も盲点に落ちてくれなかったら…と考えると、出題にも勇気がいると思います。

■ 53A-10 小林看空氏作（正解7名）

協力詰 7手

									皇	飛	一
										と	二
								飛			三
											四
								角	王		五
								桂			六
										馬	七
											八
											九

持駒 なし

【解答】

26馬 14玉 36馬 25桂 13と 15玉
26馬 まで 7手

(詰上り)

									皇	飛	一
										と	二
								飛			三
											四
								角	科	王	五
								桂	馬		六
											七
											八
											九

持駒 なし

【解説】

駒を打つとき「重ね打ち」が盲点になりやすいように、すでにある利き筋に移動する手も、効率悪く見えて盲点になることがあります。本

局の初手 26馬もそのような手です。ここは 16馬が筋に見えます。玉を下段に追うなら、馬の利きを効率よく使いたくなるからです。しかし、下段は守備駒が強く、思ったよりも詰みません。いつ下段で詰ますことを諦め、中段に戻す筋を考えることができるかが解図時間に大きく影響するでしょう。

後半5手は 26馬のスイッチバック+香筋を止める桂の限定合。この部分だけでもそれはそれで立派な作品ですが、頭2手が無いとただの整った作品に過ぎません。俗手の追加で価値が上がる……詰将棋の良し悪しは形式のみでは語れません。

【短評】

谷口翔太さん

初手、協力詰ならではの好手。
上手い手の探しすぎです。

変寝夢さん

裏筋狙いかな。実は初手が自動的に決まっているので楽でした。

橋圭伍さん

完全限定前提で見ると 16馬は無理想なので 25馬なら次は 36馬しかないという感じで解きましたが……普通に見えにくかったです。

たくぼんさん

この桂合はある筋なので配置駒数が多いと感じます。

ぼこさん

今回、どうも合駒のことが頭から抜けていたみたいで結構悩みました。

占魚亭さん

3手目がポイントですね。

☆ かなり難しいと思ったのですが、皆さん裏筋・芋筋狙いに切り替えてきたのか、意外と苦戦の声が少ないですね。

■ 53A-11 上谷直希氏作（正解7名）

協力詰 9手

						科			龍	
							歩	歩		
						歩	歩	王		
							角	桂	香	

持駒 なし

【解答】

18 龍 28 飛 同龍 49 玉 38 龍 同玉
18 飛 27 玉 28 飛 まで 9手

(詰上り)

						科				
							歩	王		
						歩	歩	飛		
							角	桂	香	

持駒 なし

【作者のコメント】

最近原点にもどる意味でも、ばか詰ばかりつくっています。大学の講義中でも考えやすいですしね！

そのなかでも特に実戦形（玉の向きが逆ですが）を好んで選択。つくるルールとしては、

- 29桂は必ず置く。
 - 19香、27歩もできるかぎり置く。
 - それ以外の7段目の歩も置く努力をする。
- というシンプルなもの。

理由としては自分でもよくわからないのですが、自ら制限を設けることでむしろ考えやすくなるのが一番です。もちろん、詰みにくくなるというのも大きな理由ですね。その私にとつ

ての縛りが「実戦形」という形で解答者の皆様の目にはっきり見えるということは、付加価値とは言わないまでも、地についている安心感を与えるだろうという点で、特に29桂という配置は自分の作品制作にとって一石二鳥ではないかなと思っています。

手順としては素材もいいところですが、どうしてもこれ以上手数を伸ばせませんでした…。是非ともこの哀れな拙作に改作のアドバイスを皆様をお願いしたいです。

【解説】

実戦形は詰将棋の故郷と言いますが、帰郷先は相手の故郷、つまり入玉形の実戦形というちよつと捻った作品です。

本局の狙いは明快。盤面に置かれている16龍、これが飛ならば3手詰。このため、7手を掛けて龍を飛に変換します。一種の不利交換ですね。攻方がわざわざ損（利きの損）をするという意味で「攻方が損をする作品」を募った「第38回神無一族の氾濫」に通ずるものがあります。

入玉形実戦型の特徴は入玉特有の「詰みにくさ」が加わることで、わずかな配置で密室型の味を出せることです。協力詰では普通の実戦形から粘りある手順を引き出すのは難しいですが、入玉形ならその点も大丈夫。このシリーズからどんな作品が生まれるか楽しみです。

【短評】

谷口翔太さん

竜ならダメで飛ならOK、これで協力詰に嵌ります。

変寝夢さん

やはりこの手数になってくると、そんなに紛れがなくても解きにくくなってくる。

橘圭伍さん

龍が飛車ならと思ったなら作意もその通りでした。氏が昔出したキルケ作品を思い出す。

DD++さん

「桂香のある右へ追うのなら27玉で詰むのだろう、ならば合駒は26と38を塞ぎつつ27に取りをかけられる駒を考えればよい！」までは正しく考えたのにそこで必死に16馬を作ろうとする大ボケをかましたのが私です。

たくぼんさん

16 龍が飛なら 3 手詰ということですね。

ぼこさん (※無解)

最初の 4 手 (1 8 龍・2 8 飛・同龍・4 9 玉) は必然だと思うのですが、それ以降がさっぱり・・・

占魚亭さん

竜を飛に。

☆ 苦労してここまで辿り着いた解答者にとって、本局はちょっとしたオアシスになったのではないのでしょうか。解答者全員正解。

■ 53A-12 上谷直希氏作 (正解 4 名)

協力詰 17 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						銀	歩	歩	六
						歩	歩	歩	七
						歩	玉		八
						龍	桂		九

持駒 角

【解答】

19 角 38 玉 47 銀 27 玉 36 銀 38 玉
27 銀 47 玉 38 銀 46 玉 36 歩 37 角
同角 36 玉 47 銀 27 玉 36 角 まで 17 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
						角	歩	歩	六	
						銀	角	玉	歩	七
						歩			八	
						龍	桂		九	

持駒 なし

【作者のコメント】

実戦形をつくっていたはずが、こんなことに。普段は一桁手数ばかりの私ですので、駒繰りで魅せる中編、後編はやっぱり難しいなと感じます。

【解説】

実戦形から香を外し、3×2の密室型のような構図。実際は 47 に穴が開いているので密室ではないのですが、47 に銀を捨てて無理やり追い出しても手が続きません。

よく見ると 27 歩が邪魔駒なので、ここは急がば回れ。銀を繰り、4 手掛けてこれを消去します。これで銀を捨てずに、玉を追い出すことが可能になります。

これで、そのまま外で詰んでしまったら興奮めですが、角合を挟んで玉が中に戻り、鮮やかに収束します。銀を繰り変えながらぐるりと回転するような手順が楽しい作品でした。

【短評】

谷口翔太さん

グルッと回って角合を発見。
アア草臥れた、暑い、暑い。

変寝夢さん (※無解)

これも白旗です。
4 6 に逃がすことが盲点でした。

橘圭伍さん

桂を取る展開だと完全限定にならないので取らない場合を見ると外に出すしか限定出来そうにない、という事で探索したら直ぐでした。銀の一回転が楽しい作品。

たくぼんさん

狭い中でのらりくらりと逃げる玉でした。

ぼこさん (※無解)

時間がなくて本格的に挑戦していません (汗)

占魚亭さん

合駒をどうやって捻り出すか。
銀の回転がいいですね。

☆ 本局は無解者 4 名。角合からの最短の収束が見えづらかったのでしょうか。

【Aコース総評】

谷口翔太さん

この手数なら僕にも解ける？かもと、今回の作品展に挑戦。夏の暑さにも、集中豪雨に負けずに頑張りました。

全問が解けた？のは8月に入ってから。早朝、涼しいうちにと解答書き、今日も暑くなりそう、いや、もう暑い。猛暑。お見舞い申し上げます、です。

変寝夢さん

一度盲点に嵌まると中々抜け出せないですね。こういった出題歓迎です。

橘圭伍さん

A問題 12題で70分位でしょうか。協力詰を最近殆ど解いてないためか見えなかったです。件の5手詰コンクールよりも易しかった為か苦労は少なかったです。個人的には、A-11が好きですね。

ぼこさん

いつも楽しく拝見させて頂いています。今回、Aコースとして特殊ルールのない短手数協力詰が多数出題されていましてので挑戦してみました。かなり早くから取り組んでいたのですが、ぎりぎりまで悩んでかなり充実した1ヶ月でした。

占魚亭さん

年に1回、このような協力詰特集があると嬉しいです。

☆今のところ特集が組めるかどうかは投稿次第ですね。定期開催にして、短編協力詰だけストックするようにする方法もありますが、少しやり方を考えたいと思います。



〔第53回 WFP 作品展 Bコース成績〕(敬称略)

○：正解 -：無解 ×：誤解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	計
橘圭吾	○	-	○	○	○	○	-	5
たくぼん	○	×	○	○	○	-	-	4
一乗谷酔象	○	-	-	-	-	○	○	3
DD++	○	-	-	-	-	○	○	3
変寝夢	○	○	-	-	-	-	-	2

Bコースは7題。解答者全員正解の53B-1、解答者3名の53B-2を除いて、作者以外の正解者は1名か、正解者なしとなってしまいました。

■ 53B-1 変寝夢氏作 (正解5名)

PWC協力詰3手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王										一
										二
雀										三
										四
										五
										六
										七
										八
									蛾	九

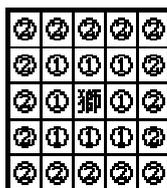
持駒 角

※91玉は不動

【ルール】

•獅子(獅)

中将棋の駒で、1手で1回または2回動ける。1回動くときは図の①または②の位置に動く。2回動くときは1手目で①の位置に、2手目で隣接する8枡のいずれかに動ける。結果的に動かなかったり、動かずに①の位置の駒を取ったり、2つの駒を取ったりすることができる。



•PWC

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

【解答】

28角 18-同獅寄/18角 81角成 まで 3手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	馬								一
									二
獅									三
									四
									五
									六
									七
								蟻	八
									九

持駒なし

【作者のコメント】

PWCで獅子を使ったら最大2枚交換できるということで、早速自作ソフトの仕様を変えてまでいろいろ考えましたが、これが精一杯です。

獅子は玉と同様、取られたらすぐ駒台というルールの方がいいかも。

【解説】

中将棋の獅子は非常に強力な駒です。その強さの源泉は1手で2手分指せることですが、これをPWCで利用するとどうなるでしょう？

本局はその一つの答えを提示しています。獅子の原位置ではなく、経由位置での位置交換を実現しているのです。初形で獅子は19に居ます。そのまま28角と位置を交換すると、角は19に来てしまい役に立ちません。そこで獅子の2手指しを利用します。一旦18に立ち寄り、そこから交換を行えば、角は18に移動。再活用が可能になります。

なお、本局には玉が不動（玉が00リーパー）という条件が付いています。玉が動けると73角 92玉 82角成などの平凡な手段で詰むからですが、筆者だったら「不動玉」玉の条件は外して92銀を追加するでしょう。この辺は好みですね。

PWCでの獅子の利用は本局のような「原位置以外での位置交換」の他に、「2枚の駒の位置交換」も考えられます。これは作者のコメントにも触れられていますので、後続作に期待しましょう。

【短評】

変寝夢さん

一応イメージとしてあったのは、
玉方28歩37歩55玉51獅子33香
攻め方17獅子19王

持駒なし

ルールPWCマドラシで2手スタイルメイト

ト
作意28-37獅子(28歩->17&37歩->28です)、同香成まで
何か趣向っぽい物ができればいいんですが・・・。

☆スタイルメイトで獅子を使うなら、マドラシで獅子の利きを消すのではなく、獅子の性能を残したままで閉じ込めるような問題を考えた方が面白そうに思います。その分、作るのは難しくなるとは思いますが。

橋圭伍さん

一度、迂回してから28角を取る手順ですが動けると82角成が消せなかったという事ですかね？

DD++さん

▲28角 △18-28獅/18角 ▲81角成 まで
という解答はありなんでしょうか。すれ違うイメージだと18に戻りそうに見えますが、しかし「取った駒が元あった場所に復元する」というルール表記である以上19に復活するのが正しそうな気がしないでもない…
でも他にどうすればいいか思いつきませんでした。

☆フェアリーは作例を重ねつつルールの整備を進めるという側面もあります。獅子のように2手指しができる駒が途中で位置交換ができるかどうかは今まで論じられて来ませんでした。本作でこれを可とするルール提案と作例がセットで提示されたと考えても良いのではないのでしょうか？
逆に原位置だけ位置交換可能とすると、複数の駒が獅子の周りがあった場合どうするかというルール設定を考えねばなりません。また、「PWC連続詰」のように一方の側が連続で何手も指すルールでは、各着手毎の位置交換は有効です。獅子についても玉と同じ利

きを持つ駒が連続で2手指すとみなせば、經由位置での位置交換が可能というのは、自然なルール設定だと思います。

たくぼんさん

獅の動くルートがポイントとは参りました。かなり悩みました。

■ 53B-2 変寝夢氏作 (正解1名※作者のみ)

Koko-PWC協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				香					三
									四
			金	王					五
									六
									七
									八
						香			九

持駒 なし

【ルール】

• Koko

着手は、そのまわりの8マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。王手にもこの条件は適用される。(PWCで玉は復活しないことに注意)

【解答】

46 香 45 玉 56 金 54 玉 45 金 43 玉
34 金 33 玉 42 香生 同玉/33 香 43 金
まで 11手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					王				二
			香	金	香				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

自作ソフトに KOKO を追加したので、バグ探しを兼ねて出品です。中々完全作が出来ず、PWC を追加してやっと1作できました。好手も何にもありませんが、不思議感は相当あると思います。

ルール等の勘違いがあれば失礼です。

【解説】

Koko の効果を使った空中捕捉と紐なしで詰めることができる PWC の効果の合わせ技が見られる作品です。

まずは詰上がり図を見てください。Koko の条件があるせいで、玉は1段目に逃げることはできません。Koko では中段玉も端玉と似たようなものなのです。また、43金を同玉と取ることもできません。取った金が42に復活するからです。PWC では近接王手は非常な脅威なのです。43金を同金と取るのも金が53に復活してダメ。32・33・42の各所にも逃げられません。玉の近傍に駒が残るからです。

この詰上りの想定も困難ですが、そこに至る手順にも難所があります。中でも34金の活用を見越して5手目55金ではなく45金とするのが好手。更にソッポ行きに近い感覚の9手目42香生の味の良い一手です。

欲を言えば、手順中にPWCの効果をもっと出て欲しいところですが、本局はKokoとPWCの組み合わせで初めての作品にしてはよく出来ているのではないのでしょうか。

さて、KokoとPWCを組み合わせるとき明確にしておかねばならない点があります。それはPWCで玉が位置交換の例外になるということです。実は単にPWCを考える場合は玉が復活せずを取られるかどうかは、あまり問題になりませんでした。玉が取れなくとも「王手放置」の反則で処理できたからです。ところがKokoと組み合わせる場合は、玉が復活できてしまうと近接距離の王手がすべて有効になってしまい、Kokoの効果を減殺してしまいます。例えば本局の初形は玉が復活できるとすると、いきなり王手となってしまい、作品として成立しません。従って出題時に「PWCでは玉は復活しない」として説明しました。

これが、Koko以外との組み合わせ時にも必要かどうか、更には一般的にも玉は復活の例外とした方が良いのかは検討を要すると思います。ご意見があればお寄せください。

まずは1筋の3枚の駒にご注目を。攻方 17王 18銀、受方 19玉—これは玉が動けない最小の密室を最も簡潔に作る方法の一つであり、この型から作られた協力詰や協力自玉詰は数多く存在します。同時にこれは堅牢な密室であり、ちょっとやさそつとのことでは壊れません。しかし、本局はキルケの性質を上手く使いその密室を崩します。つまり 18銀を何とか排除する手順を求めるわけです（逆に、密室を壊さずに自玉を詰めるのは困難です。）

18銀を動かすにはどうするか……この銀で王手は掛けられませんから、間接的手段に頼るしかありません。通常は間接的手段と言えば開き王手なのですが、17には王が鎮座しており大駒を1筋に追加しても開き王手はできません。

しかし、キルケ特有の“間接的手段”があります。そう、「魔女返し」です。もし持駒に飛があったとしましょう。そして 18銀を取れる受方の駒があったとしましょう。この2条件が満たされれば、「49飛 18X/39銀」として銀を18から排除することができるのです。

これで方針は定まりました。飛は 91馬とすればすぐ手に入ります。ただこの次が困ります。普通に考えると 18銀を取る駒は、この 91馬の利き線上でなくてはいけません。つまり 28金か 28飛です。でもこれでは 18銀を取ったとき逆王手が掛かってしまいます。例えば 28飛合として逆王手のときに詰ませることも考えられますが、この場合 26王の脱出を防ぐ駒を配置しなければいけません。そんなことが可能なのでしょうか？

それを実現するのがまたもや「魔女返し」です。飛を受方の駒に取らせれば 28飛で馬筋を塞いでくれるので、同じ筋でもう一度馬での王手が可能になります。

ところが、まだこれでも答えにはたどり着きません。飛を打てるのは9段目ですが、ここに駒が発生してもあまり使い道がないのです。しかし手段はあるものです。9段目に飛を打った時、これを取るのが飛であれば、「同飛成」で次は8段目に活用することができます。そこでもう一度「魔女返し」をやれば…

こうして4手目の飛合の場所を考えていくと、後々の 49飛の邪魔にならないよう、46飛合→49飛成→58龍として、飛を待機させる軌道が判明するでしょう。かくして3回もの「魔女返し」を含む華麗な手順が浮かび上がりました。余詰筋の応用ということで、作者にとって

は 100%納得の作品とはいかないようですが、解いて面白い作であることは間違いありません。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

頭3手は絶対なので解きたかったのですが・・・28合から離れられませんでした。

橘圭伍さん

動けないので比較的簡単だと思うんですが。これを解いたのを機にキルケを始める人が出てくれればいいかなと思う作品。

たくぼんさん

28飛の移動で詰上りを作っていく過程が楽しい。

☆ 幸い本局以降の3題はたくぼんさんから正解が寄せられ、「作者以外の正解者なし」を免れました（それでも実質正解者1名…）。変寝夢さんは f m で答えを見てのコメント。正解者の少ない作品ですから、解こうとして解けなかった人の感想は一層貴重です。

■ 53B-4 橘圭伍氏作（正解2名）

強欲協力自玉詰 16手

										一
		皇						王		二
		帝					歩			三
										四
										五
		雀								六
										七
										八
	王									九

持駒 角 香

【ルール】

・強欲

駒を取る手を優先して着手を選ぶ

【解答】

29香 32玉 23角 21玉 67角成 28飛
76馬 11玉 99角 77飛 同馬 12玉
62飛 同金 78馬 同飛成 まで 16手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		馬							一
			香					王	二
									三
									四
									五
									六
									七
		馬							八
角	王							香	九

持駒 なし

【作者のコメント】

たくぼん氏作の強欲協力詰を解いている時に思いついた筋を展開した作品。強欲ルールで初形にない駒で自殺するというのが狙いです。

開き王手による王手をした瞬間、別の駒が取れるようになっているという単純な構図です。

原形は 99 が初めから埋まってましたが、神無七郎氏作協力詰(71馬・19玉形で91角82合を展開する作品)を思い出し99角~77合という展開を導入出する事で初形から外す事が可能になりました。

角香の最遠打が入っていて飛合も出ているので 92 飛と打つ展開も考えましたが主眼である 28 飛で詰ます展開がぼやけそうなので止めておきました。飛最遠打を最初に持ってくるようにすれば出来そうではあります。

【解説】

強欲ルールは駒を取るルールです。合駒を出せば次は取る手と相場は決まっています。では、強欲ルール下で発生させた合駒を取らない手段はあるのか……これがあるのですね。「開き王手で別の駒を取れるようにしておく」これが答えです。開き王手で動いた駒が合駒とは別の駒を取って王手できれば、合駒は生き残るのです。

こうした可能と不可能の境目にある興味深い領域を見つけられるのは、作者の着眼点が鋭い証拠ですが、主題の後のまとめも飛角香の遠打が無理なく(この「無理なく」が結構大事)勢揃いするよう配慮されており、着眼点のみではなく、作者の創作力が全体として充実し、脂がのっている状態であることを感じさせます。

32 歩は惜しい配置ですが、これがないと 2 手

目の玉の移動先が限定できません(どこに移動しても作意と同様に詰むことを確認してください)。今度は完全な無仕掛けから合駒がたくさん盤上に残る強欲作品が見たいですね。

【短評】

変寝夢さん(※無解)

結構FMでも時間かかってました。

手順は普通の協力自玉みたいな感触でした。

橘圭伍さん

上の金香のスクラムの評判が図面になると気になりますね。

たくぼんさん

強欲をうまく利用する手順に感嘆!

☆ 筆者もそうですが「強欲」系のルールで創作した経験のある人ほど、この作品には驚くと思います。後半にも強欲独特の展開があればもっと素晴らしいですが、それこそ「強欲」すぎますね。

■ 53B-5 橘圭伍氏作(正解2名)

強欲協力自玉詰 28手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
						ス			三
香	王	香	香	香	香				四
			ス	ス					五
歩	歩								六
	香								七
									八
									九

攻方持駒桂4 香4

受方持駒なし

【解答】

86 香 73 玉 85 桂 72 玉 73 香 83 玉
93 桂生 73 玉 85 桂 72 玉 84 桂 71 玉
72 香 61 玉 53 桂 同と 63 香 同と
73 桂生 同と 71 香成 同玉 72 桂成 同と
82 香成 同と 81 桂成 同と まで 28 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	ス	玉							一
									二
									三
歩		歩	歩	歩	歩				四
			ス	ス					五
歩		歩							六
	歩								七
									八
									九

攻方持駒なし

受方持駒桂4 香4

【作者のコメント】

白玉詰による詰み崩しが狙いの作品です。

元々、2009/5 第6回詰四会フェアリー作品展5番自作協力白玉STM12手(94王 91玉 83香 72飛/金銀桂)の神無七郎氏の詰み崩しは珍しいというコメントを見て作り始めた作品群の一つです。

最低3枚・出来れば4枚を目標にしているのに4年たった今も2作しか出来てません。(1作は桂を打って捨てる作品)

最初に93桂を据える展開も入り満足の出来る物になりました。易しいですが可愛い小品です。5段目の「と」を引っ張り出すショートカットがなければ完全だと思います。

【解説】

本局の詰みに至るストーリーは非常に単純。早い話「53と」を81に誘導して詰めるだけ。でも、その「過程」に狙いがあります。

それは5枚もの駒を積み上げて、一挙に捨てる「積み崩し」。詰み崩しはベタベタと打った駒が収束で一気に捌ける爽快感から、普通詰将棋では盛んに使われる手法ですが、なぜかフェアリーではあまり使われません。その一因は、協力系のルールでベタベタと駒を打っていくのが難しいためでしょう。崩すどころか積み上げる前に詰んでしまうのです。

本局はその「積み崩し」を協力白玉詰で実現した作品。「強欲」条件がうまく働いて、非限定や早詰を消しています。

それが最も良く表れているのが4手目から7手目の一連の手順。81への利きを発生させるため、93桂を開き王手で発生させるのですが、

普通に開き王手すると「強欲」の条件で同玉と取らざるを得なくなるので、前もって取られるための73香を打っておきます。ここが小さな伏線になっていて、後半の一挙に積み崩し手順の爽快感を高めています。

投稿時はコンピュータチェックが完了していなかったもので、作者は早詰を心配していましたが、完全性は筆者の方で確認しています。

【短評】

変寝夢さん(※無解)

小駒らしい捌きが面白いです。

橘圭伍さん

これは解きやすいので楽しんでもらえそうです。積み崩しの作品を色々見てみたい所です。

たくぼんさん

73香と取らせ駒を発生させての93桂生がすばらしい手順。

☆ここは本当に上手いですよね。普通は92圭を据えるような逆算を考えるのですが、それだと持駒金を打ったのとあまり変わらず、詰み崩しの手順も重く感じられたと思います。

■ 53B-6 橘圭伍氏作(正解3名)

推理将棋『帰巢本能』

A 「19手で終わった将棋はどんな将棋だったの？」

先手「僕はたった一つの駒を動かしてただけだったんだけど気付いたら勝ってたよ」

後手「18手目に、小駒の成駒を動かしたらその駒を最終手で取られて詰まされたんだ」

A 「うーん、それだけじゃ分からないよ」

後手「僕は2手目に52玉と指したよ」

A 「それでどんな将棋か分かったよ！」

さて、どのような将棋だったのでしょか？

条件

1) 19手で詰んだ

2) 先手が着手した駒は1枚だけだった

- 3) 後手は 18 手目に小駒の成駒を動かし、先手は 19 手目にその駒を取った
 4) 2 手目は 52 玉だった

【ルール】

• 推理将棋

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する

【解答】

96 歩 52 玉 95 歩 64 歩 94 歩 63 玉
 93 歩成 74 玉 83 と 98 香成 93 と 85 玉
 94 と 96 玉 95 と 87 玉 96 と 97 杏
 同と まで 19 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
	科	爵	零		零	爵	科	皇	一	
	進							馬	二	
		糸		糸	糸	糸	糸	糸	三	
			糸						四	
									五	
									六	
と	王	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七	
	角							飛	八	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九	

持駒 香歩2

【作者のコメント】

歩のスイッチバックが狙いの作品になります。単純に行った軌跡を戻すだけなので簡単かと思ったのですがそうでもなかったようです。

詰ます位置としてはそれ程多くはないはずですが③の条件が厳しいはずですが。7 段目に玉を運んだ場合、後手が③を満たすには 2 回しかなく香以外では実現不可能ですので 7 段目まで玉が出ると決め打てば解くのは易しいはずですが。

他にも、角の力を背景にする・飛の力を背景にする・端で 4 段目を後手の歩で抑えて 6 段目と金迄と行った形がありますが見落としがなければ手数が足りないはずですが。

【解説】

簡潔な条件から、歩が元に戻る「還元歩」が登場する作品。「帰巢本能」の命名から何かの駒が初期位置に戻ることはある程度予想できますが、与えられた 4 つの条件には直接の言及がありません。条件 2) は 1 枚だけ動かしたと言って

いるので、非限定がないことを考えると、動かしたのは歩の可能性が高くなります。

歩が元の位置に戻る理由は条件 3) です。小駒の成駒は足が遅いので、1 手動いた程度では自陣に戻って来られません。従って先手陣で取られるよりなく、先手の歩が「と金」になって帰ってくる手順に繋がるわけです。

また、条件 1) で与えられた「19 手」もなかなか意味深な数字です。7 段目の歩が成って帰るだけなら 15 手で済むわけですが、先手は 2 回余分に動かねばなりません。7 段目の歩が 3 段目ではなく 2 段目まで進んでから帰ってくるとちょうど 19 手なので、その筋がいかにもありそうです。ついでに角の利きを利用するために、7 筋の歩を動かす線で考えてみましょう。実際その線に沿って進めると…

76 歩 52 玉 75 歩 64 歩 74 歩 63 玉
 73 歩生 74 玉 72 歩成 75 玉 73 と 76 玉
 74 と 87 玉 75 と 77 歩 76 と 78 歩生
 77 と まで 19 手?

のように、条件 3) とうまく合いません。

実はこの手順、歩を突く筋だけでなく、寄り道の仕方が良くありません。縦に寄り道するのではなく横に寄り道するのです。それが作意の 9 筋の歩を突いて 9 手目「83 と」とする手です。これなら 91 香が働くので、早めに小駒の成駒を作ることができるのですね。

本作は各条件を上手く連携させ、「還元歩」という凝った手順を少ない条件で実現していると思います。

【短評】

橘圭伍さん

初形位置に成った状態で戻る作品は自分の推理将棋処女作(未発表)からの課題でしたのでこれだけで実現できて満足です。

DD++さん

手順自体は簡単ですが、内容はけっこう複雑。特に△77 角成▲同飛から最後は玉コビンから飛を引いて成小駒を取りながらの角筋開き王手で詰みを考えだすと、玉が中段に出てこずに後手陣内で形を整える可能性まで浮上し、19 手という手数が凶悪に効いてきます。積極的に裏読みをする人の場合はそれだと初手が非限定だしどうせ違うんでしょ、とな

るのかもしれませんが。

たくぼんさん（※無解）

53B-7 を先に手をつけてしまったので時間が取れなかった。

一乗谷酔象さん

玉位置が推測できず苦戦しました。

☆ 玉位置が推測できなかったということは、飛の利きを使った右辺での詰みか、6段目の詰型を追っていて苦戦されたのでしょうか。一乗谷酔象さんは明らかに時間切迫の中で解答を寄せてくださいました。そのため、解答のみでコメントがほとんどなかったのですが、本作には唯一の短評を残してくれています。

■ 53B-7 一乗谷酔象氏作（正解2名）

推理将棋『泣く金、マネーゲーム』

- ・「マネーゲームに手を出したって。危ない奴だなあ」
- ☆『真似将棋の相手をしただけだよ』
- ・「初めのうちは、不況だから景気を様子見てから、慎重に商品(タマ)を比較した上でお金を銀行に預けていたのに」
- ☆『初手から歩香桂、玉飛角金銀の順に8種の駒を一回ずつ動かしたんだ』
- ・「後に不況が続いた後、景気が跳ね上がったら、今度はすぐ銀行の金を大きく動かしたね」
- ☆『後で歩香桂銀金の順に小駒を一回ずつ動かし、その直後に大駒を動かす一連の手順があったただけだよ』
- ・「連夜に金を動かしたって」
- ☆『金寄りの手は連続した2回だけで、他に連続して金を動かす手順はなかったよ』
- ・「空売りを2回やって、頭にきて金を動かしたって」
- ☆『空成りの手が2回あったただけだよ。2回目空成りのすぐ後に玉頭の歩を突いてから金を動かしたけど』
- ・「箸も付けないうで一人で動き続けたんだって」
- ☆『一つの駒を8回続けて動かした直後、端の手を指したただけだよ』
- ・「それなのに太ったんだって」

- ☆『駒取りは歩取りが2回あったただけだよ』
- ・「全ての物事は一歩ずつ地道に進めないと痛い目に会うよ」
- ☆『盤上にある自分の歩を全て右の筋から左の筋の方に順番に各筋1路ずつ前進させる一連の手順もあったよ』
- ・「せっかく稼いできた金が泣くよ。マネーゲームから早く抜け出さないと」
- ☆『79手で79箇所着手して79金迄。真似将棋は先手が勝ったよ』

さて、どのような将棋だったのでしょうか？

条件

- 1) 79手で79カ所に着手して79金で詰んだ。
 - 2) 駒打ちなしのマネ将棋★
 - ※以下3)~9)は先手側の着手条件
 - 3) 先手は、初手から歩香桂玉飛角金銀の順に8種の駒を1回ずつ動かした。
 - 4) 先手は歩香桂銀金の順に小駒を1回ずつ動かした直後、大駒を動かした。
 - 5) 先手の駒取りは2回だけで、いずれも歩を取る手
 - 6) 先手の空成りは2回だけで、2回目空成りの直後に玉頭の歩を突き次に金を動かした。
 - 7) 先手の金寄りは2回だけで、連続した着手だった。その他には金を連続して動かすことがなかった。
 - 8) 先手は一つの駒を8回続けて動かした直後、端の手を指した。
 - 9) 先手は、盤上にある自分の歩を全て右の筋から左の筋の方に順番に各筋1路ずつ連続して前進させた。
- ★マネ将棋：後手は2手目以降直前の先手の指し手をマネ(55地点を点対称に着手)し続けた。

【解答】

96歩 14歩 98香 12香 97桂 13桂
68玉 42玉 38飛 72飛 99角 11角
48金 62金 28銀 82銀 85桂 25桂
73桂生 37桂生 61桂成 49桂成 33飛生 77飛生
39飛成 71飛成 66歩 44歩 58金上 52金上
16歩 94歩 26歩 84歩 46歩 64歩
56歩 54歩 65歩 45歩 86歩 24歩
95歩 15歩 18香 92香 17桂 93桂
88銀 22銀 59金 51金 29龍 81龍

57 玉 53 玉 47 玉 63 玉 36 玉 74 玉
 35 玉 75 玉 34 玉 76 玉 43 玉 67 玉
 32 玉 78 玉 21 玉 89 玉 19 銀 91 銀
 27 龍 83 龍 87 龍 23 龍 69 金 41 金
 79 金 まで 79 手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	爵			圭		雫		玉	毎	
二	皇			雫				爵	皇	
三	科							驥		
四	歩	歩		歩	歩			歩		
五				歩		歩			歩	
六		歩							歩	
七		龍							桂	
八	香	銀				金			香	
九	角	王	金			手			銀	

持駒 歩2

【作者のコメント】

『XY 手で XY カ所着手して XY 地点の手で詰み』条件の長手数問題です。マネ将棋・駒打ちなしでは最長の 79 手になります。例によってテンコ盛り条件は、噛み合わない会話にこじつけました。

【解説】

「真似将棋」で盤面ほぼ全部(79箇所!)を使えという問題。「詰将棋で玉の全格巡りは可能か」という話題がしばしば取り上げられますが、本局では「ほぼ全格着手」が最初から条件として与えられています。

基本の条件は 1)2)の 2 つですが、79 金で詰んだことから互いに入玉しなければいけません。しかし歩を下手に動かすと入玉はできなくなります。例えば 76 歩と突くと、相手は 34 歩となるので、玉は 34 を通過することができなくなります。つまりどこかの歩は原位置に置いたまま消し、その筋の 4 段目を玉が経由して入玉しなければいけません。先手玉は右辺に持っていきたいわけですから、想定できるのは桂を 17→25→33→…と進めて 34 を経由して入玉する手順です。しかし、その後の桂の跳び先を考えると、自玉か相手の金の移動の邪魔になってしまいます。

解答を見れば分かるように、正しい手順は二段構えになっています。まず、先の想定とは逆

に桂を 97→85→73→…と進めます。これは 74 地点を經由して入玉するのが目的ではありません。こうしておいて邪魔な 37 歩を後手に取り払って貰い、飛を活用するのが真の狙いです。飛で 33 歩を取り払い、後に引き戻せば、入玉の邪魔にもならず、今度こそ 34 地点を經由して入玉することができます。

条件の 3)~9)は手順の限定だけでなく、解答のヒントの役割も果たしており、ある程度の手がまとめて判明することもあります。試しに、どの条件がどの手に対応しているか、正解手順から逆引きで当てはめてみましょう。

- 3)は初手から 15 手目
- 4)は 43 手目から 53 手目
- 5)は 19 手目と 23 手目
- 6)は 21 手目と 25 手目 (及びその後 2 手)
- 7)は 77 手目と 79 手目
- 8)は 55 手目から 69 手目 (及び 71 手目)
- 9)は 31 手目から 43 手目

もちろん解図時は、どの手とどの条件が対応するか分かりませんし、多くの条件に幻惑されて混乱してしまうかもしれません。また、条件 6)の「空成り」は相手陣から引き上げるときにも可能だということは注意しておかねばなりません(25 手目 39 飛成)。「空成り」は敵陣だと思いつくと、作意には辿り着けません。条件という名のヒントが付いていても解くのが難しいのに、この手順を一から組み上げた作者の構想力には驚くべきものがあります。

もう一つ、条件 4)が当初の「先手は歩香桂銀金の順に 5 種の小駒を 1 回ずつ連続して動かした」から「先手は歩香桂銀金の順に小駒を 1 回ずつ動かした直後、大駒を動かした」に変更された理由を説明しておきましょう。この修正がないと、53 手目 29 龍とする手を後回しにして、(後回しにした手順で) 71 手目に持ってくる非限定が生じます。実はこれは元の作意だったわけですが、作者自身が非限定に気づいて修正を送って来られました。担当者はまったく役に立ちませんでした、作者の検討力はさすがです。

最後に着手のあったマスと、その順番を確認してみましょう。着色したマスが着手地点(玉の通過したマスは色を変えています)、数字は先手の着手順序を示します。後手の着手順序は 55 を中心に点対称なので省略しています。

			11				35	
						34		
		10			33	12		
						32		
22	9		20			31		
1	21		14	19	18	30	17	16
3	38			28	29		37	24
2	25		4	15	7	5	8	23
6		40	39	26		13	27	36

マネーゲーム：着手箇所

【短評】

橘圭伍さん（※無解）

最初に動かした形が金寄り条件を 100%満たせない形になった為に断念。後日、解こうと思っていたら色々浮気してしまい解けず…
…申し訳ない気持ちで一杯です。

DD++さん

角を使うと 2 枚目の空成がどうやっても条件違反することにいつ気がつくかですね。そこから 61 桂成と飛車の動きを決め打ちしましたが、飛車を同じ 6 地点で「29 飛～39 飛～33 飛生～38 飛成～27 龍～87 龍」の方を作意にされていたら立ち往生だったかも。

たくぼんさん（※無解）

79 ヶ所は達成できるのだが詰み型が出来ない。空成りは桂と飛。王は左回りを散々考えたが構想が見抜けませんでした。金寄り条件が憎たらしい。8 月入ってから考え出したのが遅すぎました。

☆ 本局は予想通りの難問で、正解者は DD++ さんのみ。誰もが苦戦する（あるいは取り組む前から白旗状態の）この大作に対し、唯一の正解を入れたことは、とても価値が高いと思います。

第 54 回にも「マネ将棋」を主題とした作品が登場していますが、果たしてどれだけの正解が入るでしょうか。

【B コース総評】

変寝夢さん

また自作以外ぼうすです。

3 は悔しいけれど実力ですねー。

橘圭伍さん

自作が多かったのが全解狙いだったんですが浮気のし過ぎでダメでした。ただ、浮気の代償としては十分な成果を得られたので何時か投稿出来ればと思っています。
お盆に入るのでも今回は早いですが解答打ち切りとさせていただきます。

【総評】

DD++さん

時間が足りない……。

たくぼんさん

A コースの短手数協力詰や B コースの構想作と楽しめる作品が粒ぞろいでした。

☆ 今回は大量出題のせいもあって、皆さん時間不足に悩まされたようです。

かくいう筆者もこの結果稿はとりあえず形を整えるだけで精いっぱい。いつもより早く下準備をしていたのですが、それでも提出はギリギリになってしまいました。内容的に不十分ところが多々あると思いますが、どうかご容赦願います。

以上

参考図：

新ヶ江幸弘『転生』（詰パラ 2001 年 3 月）解答

56 と 同玉 45 銀 57 玉 58 香 同玉
28 龍 57 玉 48 と 46 玉 47 と 同玉
59 桂 46 玉 48 龍 55 玉 67 桂 同金
56 銀 同玉 67 と 同玉 57 金 77 玉
86 銀 同玉 88 龍 87 と 85 と 同玉
87 龍 74 玉 76 龍 84 玉 85 金 93 玉
92 と 同玉 93 歩 同玉 94 香 83 玉
84 歩 同角 同金 同玉 73 角 94 玉
96 龍 83 玉 85 龍 73 玉 72 と 同金
同桂成 同玉 62 金 73 玉 63 金 同玉
64 歩 同玉 65 銀 53 玉 52 桂成 同玉
82 龍 51 玉 41 歩成 同玉 31 香成 同と
32 歩成 同と 同と 同金 同龍 同玉
44 桂 41 玉 42 歩 同玉 43 金 同飛
同と 同玉 33 飛 44 玉 45 歩 同玉
56 金 44 玉 55 金 同玉 35 飛成 まで 95 手

Fairy of the Forest #36結果発表

- 2013年06月20日：課題発表：(協力詰)
王手駒と同種の合駒
- 2013年07月15日：投稿締切
- 2013年07月20日：出題
- 2013年08月15日：解答締切

■ 結果発表

【今回の解答者】(敬称略、到着順)
(○は全題正解者)

○神無七郎、○隅の老人B、変寝夢、
○たくぼん、○占魚亭

☆新しい人よ眼ざめよ！

■ 36-01 小林看空 協力詰9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一					飛					
二										
三						科	糸	皇		
四			ス		ス	王				
五										
六				歩	王		馬	遊	桂	
七				角					桂	
八										
九										

持駒 桂香

46王 56飛 同角 45角 36香 35香
14飛 24飛 26桂 まで9手

(詰上り図)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三						科	糸	皇		
四			ス		ス	王	遊	飛		
五						馬	皇			
六				歩	角	王	香	桂	桂	
七									桂	
八										
九										

持駒 なし

作者一月並みですみません。

☆とのことですが、密度の高い内容で軒並み好評でした。

七郎一飛角香の飛び道具全部で課題を満たしていますね。

変寝夢一余詰防ぎが大変だったのでしょうかね。課題が3回も出てくるとはびっくり。

☆目一杯の表現が作者らしいところです。

たくぼん一課題3連発とは凄い。初形含めて王手8回も凄まじい。

☆初形も王手がかかっているんですね。スリル溢れる攻防でした。

占魚亭一派手な応酬を楽しみました。

☆周りは派手なわりに、受方玉は不動のまま。

隅の老人B一9手で合駒が4回、その内3回は大駒の移動合。ああ驚いた、協力詰なら何でも出来る、か。

☆さすがに普通詰将棋では考えられない手順ですね。

■ 36-02 神無太郎 協力詰13手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	馬	王	角					飛	飛	
二										
三										
四										
五										
六										
七						歩	王	歩		
八										
九										

持駒 香

49香 48香 同香 37玉 39香 38香
同香 27玉 29香 28香 同香 16玉
17香 まで13手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
馬	王	角					香	香	一
									二
									三
									四
									五
								王	六
				歩				香	七
				香	香	香			八
									九

持駒なし

☆広い舞台で、香を主役とした趣向の手順が繰り広げられます。閑散とした配置ですが、71 角の利きが手掛かりとなります。

七郎一飛角が出払っているのので、最初の香合は予想通り。まさかそのまま香並べのミニ趣向に突入するとは思いませんでした。これで双玉飛角図式なら文句なしなのですが、歩2枚の配置は少し残念。

作者一91 角は合駒制限配置。これ以上推敲できそうにもない。

☆この作者が言うのだから、これ以上の洗練は無理なのでしょう。

占魚亭一楽しい香打香合。

隅の老人B一香には香で。最後まで香打に拘りました。

たくぼん一課題が分からなかったらいろいろな合駒を考えたかもしれませんね。

☆確かに今回の課題は、解図上のヒントにもなっていますね。あ、今回に限らずか……。

■ 36-03 神無七郎 協力詰 35 手(受方持駒なし)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				馬	歩				四
					飛				五
				銀		王			六
						桂	入		七
				香	飛	王	香		八
				金	香		香	金	九

持駒 飛歩

39 歩 同玉 38 飛 同玉 47 銀 48 玉
 38 銀 47 飛 49 銀 39 玉 48 銀 38 玉
 47 銀 48 玉 38 飛 同と 同銀 47 飛
 49 銀 39 玉 48 銀 38 玉 47 銀 48 玉
 38 銀 47 歩 49 銀 39 玉 48 銀 同歩成
 49 飛 38 玉 39 歩 同と 48 飛上
 まで 35 手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				馬	歩				四
					飛				五
						王			六
						桂			七
				香	飛	王	香		八
				金	香	入	香	金	九

持駒なし

作者一14 手目までの手順が本作の根幹です。攻方は受方に歩を渡したいのですが、このとき飛も渡してしまいます。そのため10 手掛けて飛を取り戻します。駒を相手に渡す作品は時々ありますが、渡したくない駒まで渡してしまい、その分を後で取り戻す、「過剰な譲渡と回収」を主題とした作品は初めてではないでしょうか。

隅の老人B一「敵に塩を送る」、そういう事ですね。解けて「03 は必見」、成る程なあ、です。

☆作者の言葉から、単に「敵に塩を送る」のではないことがお判りでしょうか？ いわば「敵

に塩を送りすぎる」作品なのです。

初手いきなり 47 銀は手が続かなくなるので、39 歩～38 飛としてから 47 銀は攻方にとってやむを得ないのですが、ここで受方に渡した飛を取り戻し、その後も飛をやり取りする所が面白いと思います。

たくぼんー先に 27 とを消去しようとして四苦八苦。いきなり飛歩を捨てる序はまさに青天の霹靂。

☆27 とは途中ではがすことになりませんが、最後は 47 歩の歩を 48 歩成～39 とと呼び込んで詰上ります。そこに至るまでの駒繰りが巧妙です。

占魚亭ー銀繰りが見事。歩の使い方がいいアクセントになっていますね。

☆47～38～49～48～47 と目まぐるしく動く銀と 47 への合駒、それと歩の活用……この辺りの駒の操作は正に自在です。

【総評】

七郎ーメンバーだけ見ると今回の「Fairy of the Forest」は「神無一族の氾濫」ですね。作品募集開始から締切がちょっと短かったせいでしょうか。

☆創作の方でも「新しい人」の登場を期待しましょう。

隅の老人 Bー連日の猛暑、いささかバテている。それでも好きな道、「必見」の言葉に誘われて、解図に挑戦。一番時間がかかったのは 01。手数がいちばん短いのがなあ。解けて嬉しくなる、単純な爺さん、それは私です。

変寝夢ー1 題解けましたので・・・

☆01 は凝縮度が光りますね。

たくぼんーいや～面白すぎる 3 題でした。

占魚亭ー3 作とも素晴らしい作品でした。

☆いずれも各作者の特長を発揮した佳作だと思います。

Fairy of the Forest #37課題発表

- 2013 年 08 月 20 日：課題発表：(協力詰)
6 種以上または 2 種の着手駒
- 2013 年 10 月 15 日：投稿締切
- 2013 年 10 月 20 日：出題
- 2013 年 11 月 15 日：解答締切
- 2013 年 11 月 20 日：結果発表

■ 課題発表

着手は攻方の指し手を意味するのかもしれませんが、ここでは受方の指手(応手?)も含む総称とご理解ください。駒種は、生駒と成駒は区別します。玉(受方)と王(攻方)も区別することにします。

#36 で出題した 3 作を例にとると、01 は「玉飛角桂香」の 5 種、02 は「玉香」の 2 種、03 は「玉飛銀歩と」の 5 種です。

多い方は、とりあえず 6 種以上としておきます。7 種以上が望ましいとは思っていますが。また最小は 1 種でしょうが、それだと 1 手詰になるので、実質的に最小の 2 種とします。

それぞれの最短および最長表現を競うのも面白いかもしれませんが。例えば 01 は 9 手で 5 種を実現、02 は 2 種で 13 手まで引っ張っています。果たしてどこまで手数を縮められるか or 伸ばせるか？

多くの方々のご投稿をお待ちしています。

(投稿先)
→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

JIGSAW BOX # 08 解答発表

☆今回の正解者はたくぼんさんお一人！ 今回もどうも有り難うございます。

08-01 神無七郎

取禁対面協力詰 83手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		銀	金						一
	角			銀					二
			銀						三
				？	星				四
？									五
			？						六
									七
王	？								八
									九

持駒 桂

89 桂 87 玉 79 桂 76 玉 67 桂 65 玉
 57 桂 54 玉 45 桂 43 玉 55 桂 52 玉
 43 桂生 62 玉 54 桂生 72 玉 62 桂生 83 玉
 72 桂生 74 玉 83 桂生 64 玉 56 桂生 73 玉
 64 桂 83 玉 75 桂 72 玉 83 桂生 62 玉
 74 桂生 73 飛 54 桂 72 玉 62 桂生 83 玉
 72 桂生 74 玉 83 桂生 75 玉 74 桂生 86 玉
 78 桂 85 玉 86 桂 77 玉 74 桂 67 玉
 79 桂 56 玉 67 桂 45 玉 57 桂 56 飛
 37 桂 54 玉 45 桂 43 玉 55 桂 52 玉
 43 桂生 62 玉 54 桂生 72 玉 62 桂生 83 玉
 72 桂生 74 玉 83 桂生 75 玉 74 桂生 86 玉
 78 桂 85 玉 86 桂 77 玉 74 桂 87 玉
 79 桂 78 角 57 桂 96 玉 97 桂 まで 83 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		飛	金						一
	角				飛				二
		飛	飛						三
					？	星			四
？									五
王			？	飛					六
桂									七
	？	角							八
									九

持駒 なし

第83手目 97桂 まで

たくぼん—73 飛発生させての縦移動手順と 56 飛発生での収束手順を発見してやっと解けました。それにしても握り詰でこの手順とは恐れ入りました。

☆73 飛 (32 手目) →56 飛 (54 手目) →78 角 (80 手目) と、対駒が 3 回出現します。それぞれどんな意味があるのか、興味を持たれた方はご自身で確かめてみて下さい。

以上。

担当：小峰

推理将棋第68回出題解説

担当：DD++

出題：平成24年6月23日
 解答締切：平成25年7月20日

今回は出題期間が伸びた分「濃ゆい」3問を並べてみましたが、いかがだったでしょうか。この内容でこの感触ならあとはヒント投下だけ少し早めれば問題なしだろうという感じを私は受けておりますが。またご意見等ありましたら記事へのコメントなり総評に書いていただくなりmixi等で私に連絡をとっていただくなり、ということでよろしくお願ひいたします。

68-1 初級 橘圭伍さん作

死線！？ 9手

A「9手で勝った将棋はどうだったの？」
 先手「全て異なる地点に着手したんだけど気付いたら終わっていたよ」
 後手「4筋にだけ着手してたら詰まされていたよ」
 A「四線を越えられなかったんだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 先手は全て異なる地点に着手した
- ・ 後手は4筋にだけ着手した

出題のことば (担当 DD++)

まずは後手が4筋着手だけで作れる詰みやすような形を探すことから。

追加ヒント

43金で詰ませたいので43馬とかじるわけにはいきません。44歩34馬で代用。

推理将棋68-1 解答

- ▲7六歩 ▽4二金 ▲3三角成 ▽4四歩
 ▲3四馬 ▽4一金 ▲6一馬 ▽4二玉
 ▲4三金 まで9手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	馬		帝	爵	科	皇		一
	飛				王		馬			二
歩	歩	歩	歩	歩	金		歩	歩		三
					歩					四
										五
		歩								六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩		七
							飛			八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		九

持駒 歩

9手ではあるのですが、9手らしからぬ手順が入ります。なので駒をぼんやり動かしていた方は作意にたどり着くのに多少難儀したかもしれません。

最初に後手が4筋だけでつくることのできる詰みの形を考えましょう。まず居玉ではなさそうですね。33角成42合のところで同馬と取れないのでとても詰みに至りません。41玉についても「76歩、42金、33角不成、41玉、42角不成」と進行したところで、42へは飛銀2枚が利いていて、さりとして51への金の利きも消せず、これも詰みそうになし。

ならば42玉、ということになります。ではこれがどうやって詰むかということ、非常に簡単。76歩、33角成に対しひとまずの王手回避を入れて、43馬、61馬、43金と後手はほぼ何もなくてよい手順があるのです。

さてここでもう1つの条件を見ると「先手は全て異なる地点に着手した」。43に2回着手するわけにはいかないののでどうにかする必要がありますね。43金を変えることができないので、43馬の方を変更しましょう。51馬にすると王手がかかって面倒なので34馬から。

すると後手は42玉に加えて43を空ける44歩、残るはあと2手。両方4筋にするなら許される順はただ1つ、しかも9手らしからぬ順で、なんと42金と上がってそのまま41金と戻る順！手を指す順番も作意順ただ1つに限定されます。

それではみなさんの短評をどうぞ。

橘圭伍（作者） 「当初は4筋に着手があった事を明かさずにやっていたが初級用に改造。シンプルな条件で悪くはないかな」

■私は解説を丁寧に書きましたが、かいつまむとこれだけで解けるんですよ。

NAO 「結局、後手は42玉の1手だけ指したのと同じ。不思議な手順でした。」

■この順は特殊な条件のために無駄手の多くなる手順で現れがちですが、余った手でスイッチバックするのは珍しいです。

ジェシー 「4二銀ではダメなところが格好いいですね。」

■こういうのって普通金か銀か飛かで非限定に困るはずなんですけどね。

斧間徳子 「簡素な条件の短編で、この金のスイッチバックはすばらしい。」

■橘さんの積み重ねてきた技術力の結晶。

はなさかしろう 「手数+わかりやすい2条件、という美しい作品ですが、、これ、初級ですか！？ 戻る手がすぐ思い浮かぶのは、慣れて、というか擦れている方なのではないかと（笑）」

■でも金が戻る手の不思議さというのは啓蒙向きではあるでしょう？

チャンプ 「▲34馬～△41金がバレーボールの一人時間差攻撃と、それに引っ掛かったブロッカーの様で面白い。」

■そして61馬の攻撃に対して同玉のレシーブを放棄する後手、というわけですか。

鈴川優希 「無駄手の消費の仕方が、金のスイッチバックしかないというのが驚き。馬の遠回りも面白い。」

■王手対処の必要がなくてもこれしかないんで

すよね。不思議。

占魚亭 「44歩のタイミングがポイント。2手目だと思っていたので、少し嵌まりました。」

■私も76歩44歩同角42飛53角成から考えました。

隅の老人B 「金を引く手に好手あり」、こんな格言があったような気がする。」

■はい、推理将棋的には間違いなく好手です。

平井康雄 「最終形に目星がついても王手対策が難しい。金を無駄に往復させるのがポイントでした。」

■こんな無駄な往復は推理将棋独特の手ですからやはり見えにくいでしょうか。

ひろぼん 「金の移動で王手を防いで元に戻せばいいと分かれば簡単」

■はい、そのとおりです。

鈴木康夫 「先手の条件を「異なる筋」と勘違いして詰みませんでした。」

■「後手は4筋だけ」とごっちゃになりましたか。

渡辺 「この条件で金のスイッチバックが入るとは！流石です。結構解くのに苦労しました。」

■作り慣れているほど「こんな条件でできそうにない」という先入観が邪魔をします。

やまかん 「6手目41金引きを閃いてにやり〜」

■その瞬間こそが推理将棋の醍醐味。

S.Kimura 「ヒントを見るまで、42金を41に戻す手に気付きませんでした。」

■こういう手があると推理将棋らしい（いい意味で）バカバカしい順になります。

諏訪冬葉 「▲61 馬▲43 金 で△42 玉 を詰ます。という構想はすぐ浮かんだけど、金を上げて元に戻す手がなかなか見えませんでした。」

■橘さんの作風を知っているとけっこう疑うべき筋だったり。

はらたっと 「先手異なる筋と勘違いし、しばらく解けませんでした。」

■鈴木さんも勘違いされてましたが、そんなに紛らわしいですかねえ。

しまぎろう 「金が面白いと思いました。」

■橘さんは往復どころか4ヶ所とか6ヶ所をぐるっと回ってくるような作品がたくさんあります。

正解：19名

S.Kimura さん 斧間徳子さん Chemical さん ジェシーさん しまぎろうさん 鈴川優希さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん 橘圭伍さん チャンプさん NAOさん はなさかしろうさん 平井康雄さん はらたっとさん ひろぽんさん やまかんさん 渡辺さん

68-2 中級 DD++作

せわしない千日手 38手

「38手目、こうすると千日手で終局かな」
 「だね、ずいぶんと忙しい将棋だったよ」
 「同じ地点に駒成が12回もあったからね」
 「駒打ちが9回あった地点もあったかな」
 「そうだね、こことこの2ヶ所あるね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・38手で千日手成立
- ・12回駒成があった地点があった
- ・9回駒打ちがあった地点が2ヶ所あった

出題のことば (担当 DD++)

千日手成立が39手目にならないように。()
 ×3で解答してもかまいません。

追加ヒント

88と31に駒を打って22に成り続けますが、同一局面を作るカギは22同角「不成」。

推理将棋 68-2 解答 担当 DD++

▲7六歩 △3四歩 (▲2二角成 △同銀
 ▲3一角 △8八角 ▲2二角成 △同角成
 ▲3一銀 △8八角 ▲2二銀成 △同角不成
 ▲8八角 △3一銀) ×3 まで38手。

38手目

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	
二		飛						角		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八		角						飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒なし

あることに気が付けばほぼ一瞬ですが、気づかないと迷宮入り。今回は3題ともそういう特徴をもった問題でした。この問題の場合はポイントは駒打ち条件の特徴ですね。

例えば10手で駒打ち4回という問題があったとしましょう。駒を打つには当然駒を取らねばなりません。初手や2手目はそのどちらも不可能なので、3手目以降の8手で駒取りと駒打ち4回ずつ、つまり3手目以降全部駒を取るか打つかということになるわけですね。同様に9手で駒打ち3回の場合でも先手は3手目以降全て駒取りか駒打ちという推理ができます。さてでは、38手で駒打ち18回の場合は？ そう、これも3手目以降全て駒取りか駒打ちです。

では何を取るか、ですが3手目に取れる駒は33の歩か22の角だけ。とはいっても歩を取っても仕方がないので22角成として、4手目はも

ちろん同飛か同銀。すると5手目には取れる駒はないので角を打つ手、6手目も同じく角打ち。さてどこに打ちましょう。

ここで考えるべきは最後に千日手にしたいこと。つまり88角や4手目に動かした銀か飛はもとに戻したいわけです。だとすると駒を打つ場所はその2ヶ所にしたいところ。82角を打っても嬉しくないので、最初の6手は「76歩、34歩、22角成、同銀、31角、88角」か「76歩、34歩、22角成、同銀、88角、31角」。そしてここからひたすら「22で駒交換しては88と31に駒を打つ」という流れを予想するのも容易です。

さて、ではその予想通り進めてみましょう。成がたくさん必要なので「76歩、34歩、22角成、同銀、31角、88角」から「22角成、同角成、31銀、88角、22銀成、同角成、88角、31銀」で駒交換を3回繰り返して14手目で銀が31に復活しました。よってこれを3回繰り返せば作意……っと、ちょっと待ってください。

これを実際将棋ソフトなどで指してみると、千日手になるのは38手目ではなく39手目。あれ？と思って確認してみると、原因は14手目局面で22にいるのが角ではなく馬になっていることが原因。つまり12手目に22同角成ではなく22同角「不成」としておかないと14手目局面が2手目と同一になりません。同様に24手目36手目も不成にしておくことでやっと38手目の千日手が成立となります。駒打は2箇所3回ずつ×3周、成の回数も4回×3周なので条件をきちんと満たしていますね。

それではみなさんの短評をどうぞ。

NAO「成る手が多いけど、角生が入るのが盲点になりました。暗算では解きにくいので上級の難度かな。」

■この問題に関しては難易の意見がバラけるのは予測済みで、だからこそその中級。

ジェシー「先手の角打ちの場所をどうやって限定するのか、というところで止まっていたのですが、元に戻すためには最後に後手3一銀が必要になるということに気づいたら、すぐ解けまし

た。」

■仮にそうでなくとも、44角や55角では角以外の駒が混ざると22へ動けませんね。

斧間徳子「てっきり飛車も使うものと思い、26歩、24歩、25歩、同歩、同飛から22に駒を成る筋を追求、22同銀は盲点でした。」

■たぶん惜しいところまではいくのですが、駒打ちが足りなくなるでしょう。

はなさかしろう「なるほど～銀を入れて3枚で廻すのがミソなんですね。最後の不成の微調整も芸が細かくて好い感じです。」

■はい。というか、打って取って系千日手は2枚では絶対に成立しないような。

チャンプ「単純作業の中に作者のセンスが光る一作。38手もの手順を2条件でまとめるの技術は流石の一言。」

■と思うでしょう？ 実は限定してるのは実質14手だけで、あとは水増しなのですよ。

鈴川優希「22もしくは82に角を打って、55地点で成って、後手飛が二段目を往復して交換するのかなあなどと考えていました。交換する駒に銀が含まれるということに全く気づきませんでした。31に打つことが分かれば、成回数がオーバーすることに注目して、不成を発見。」

■さすがにこの条件ではそんなあちこち着手する余裕はありませんね。

橘圭伍「この3地点での攻防しかないが角・角の時の処理が巧い」

■逆に打っても千日手にはなりますが成回数が足りない事態に。

占魚亭「角の打ち場所と成生に気をつければ簡単。」

■この条件で成生に気をつけなければならないことに気がつくのが一番の難所ではないかと。

隅の老人B 「手順を考えているより、あちこちの回数勘定で時間がかかった。私だけかな。」

■回数は×3周でいけますが、千日手成立が38手目になる確認はソフトを使わないと面倒かも。

平井康雄「わかってみればバカバカしい手順でした。最後を成ると39手になってしまうわけですね。柿木で再現すると千日手と指摘してくれるのがうれしい。」

■推理将棋はだいたいわかってみればバカバカしい手順ですし、むしろそうあってほしいですね。

鈴木康夫 「千日手にするためには31銀の直前の手を不成にする必要があるのですね。」

■なかなかうまく隠したでしょう？

渡辺 「12手中必ず取るか打つかだし、取るときの4回は成だから敵陣に打つのが基本、と考えると早い。本問が真っ先に解けました。」

■こういう理詰めであっさりの問題ならすぐというのはさすが渡辺さんですね。

やまかん「慣れてない条件だったのでとりあえず適当に駒を動かして失敗を繰り返しながら何とか解けました。ややこしかったけど考えるとところは比較的少なかったのでいい問題だと思います。」

■長手数作品はカギとなる所以外は考えなくていいようにすると高評価なようです。

S.Kimura 「手が限定されており、先手の31銀が見付かったので、解きやすかったです。」

■14手目の31銀ではなく9手目の31銀から解きましたか。なるほど。

諏訪冬葉 「12手3セットで打つ手が9回なら取る手も9回。と考えたらほぼ一本道でした。」

■不成の存在を障害とも思わないとは、強い。

はらたつ 「条件を当てはめ確認する作業が時

間かかりました。」

■14手で同一局面が出現した、の方がよかったですかねえ。

しまぎろう 「詰み以外の問題もあるのですね。勉強になります。」

■他にも「○手で特定条件を満たす局面になった」という問題もありますね。7手で龍がつかまったとか。

正解：17名

S.Kimura さん 斧間徳子さん ジェシーさん
しまぎろうさん 鈴川優希さん 鈴木康夫さん
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん
橘圭伍さん チャンプさん NAOさん はな
さかしろうさん 平井康雄さん はらたつとさ
ん やまかんさん 渡辺さん

68-3 上級 チャンプさん作
半分は9筋の着手 12手

「さっきの12手で詰んだ将棋、半分の6手は9筋への着手だったって？」
「うん、後手の人が2手続けて王手で駒を打ってたよ。」

(条件)

- ・12手で詰んだ
- ・9筋への着手が6回あった
- ・後手は2手続けて王手で駒を打った

出題のことば (担当 DD++)

9筋着手数稼ぐ方法は案外多いので思考を柔軟に。

追加ヒント

97で取った角を89に打って詰み。さてその過程で自然に取れるもう1枚の駒は？

推理将棋 68-3 解答 担当 DD++

- ▲9六歩 ▼9四歩 ▲9七桂 ▼9三桂
- ▲8五桂 ▼同桂 ▲9七角 ▼同桂不成

▲ 6 八玉 ▽ 7 六桂 ▲ 7 八玉 ▽ 8 九角
まで 12 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇		飛	王	王	飛	飛	皇		
二		飛						皇		
三		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
四	歩									
五										
六	歩		歩							
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
八			王					飛		
九	香	皇	銀	金		金	銀	桂	香	

持駒 なし

9筋の着手。いろいろあります。9筋で駒を取る。そのために9筋に駒を置く。邪魔な駒を9筋にどかす。大駒を9筋から打つ。駒を9筋に動かして開き王手。はては詰みに全く関係ないけれど条件合わせのために9筋に何か動かす手まで存在します。今回の問題が難しいのは、これを理屈で絞るのが困難なこと。予測が外れるといつまで経っても答えにはたどり着けません。担当はこれら全てをほぼ総当りで確認しました。

みなさんが何番目に試すかわかりませんが、当たりとなるのは「97角と差し出したのを桂で取る」形。▲96歩▲97角と△94歩△93桂（△85桂）△97桂と、あまり詰みに近づいている気はしませんが、9筋の手を5回も稼ぐことができます。

この形の場合、後手の残る手は駒打ち2回だけということになりますが、はて、と首を傾げます。持ち駒は角しかありません。ここでこの筋を放棄した方は残念ながら迷宮入り。練習問題解説の「ある攻方駒が目的地に行く途中経由地点に差し出すことで、攻方になんと0手で駒を取らせる妙手がある場合も」というのでピンときて、▲97角を出る前に▲97桂▲85桂と後手桂途中経由地点にもう1枚置くことを思いついた方は正解です。

ここまで「96歩、94歩、97桂、93桂、85桂、同桂、97角、同桂（不）成」。9筋6回をクリ

アしたとはいえまったく詰みに近づいていないようにも思えます。しかし後手の駒台には角桂。9手目68玉と上がって10手目76桂！さらに78玉に89角！8手目を不成にしておけば危うげな形ながらもこれで電撃的に詰むのです！

難問であるため無解者続出でしたが、解けた方はかなり気持ちよかったのではないかと思います。

それではみなさんの短評をどうぞ。

チャンプ（作者） 「おそらくこれは難問だったはず。ここで悩んでもらえないと作者的には困ります(笑) 6手進めた全く詰みそうにない局面からの収束が気に入ってます。」

■一番悩まされたのは間違いなく私だと思います(笑) 6手だとまだ77桂成からさらに桂成でなんとかかなりそうに見えるのでそこまで詰まない感じはしませんが、97へ跳ねて一気に詰まなさそうになりますね。

NAO 「76桂がびったり。初めは9筋の駒打ちを考え苦戦しました。」

■77に先手歩があるまま76に別の駒というのは不思議な感じがします。

ジェシー「端っこでどうでもいいやりとりをしていると見せかけておいて、そこからわずか4手で詰むというのが驚きですね。」

■全くもってそのとおりです。

斧間徳子 「爽快な詰上りで解後感抜群。」

■この詰め上がりを見た時には私も思わず「おおっ？」と声が出ました。

はなさかしろう「傑作！ 3枚の攻めながら軽快な詰め上がり。桂馬の跳んだ跡に放り込む△89角が絶好です。解図は難航しました。△95角～△96角の連打や△66桂▲68玉△95角の詰め上がりが本命でしたが足らず。なんとでもなりそうな条件に誘われて試行錯誤しましたが、

結局は裏推理に頼らざるを得ませんでした。最後にようやく8手目までの順に思い至りましたが、それでも詰め上がりには瞬時にたどり着けませんでした。12手でこのシンプルな2条件も良く、解けて嬉しい作品でした。」

■本当に「それっぽい」順が多いんですよ。私も見つけた順を全て書けといわれても覚えていません。

鈴川優希「あまりにも手順が綺麗にできているので、すぐに解けました。手順前後限定の条件が見られないので、後手角を使う紛れ（端角までの詰みとか……）にはまらなければ、思ったより簡単です。」

■ええそうです、端角までの詰みは86歩合があって詰まないのをどうにかしようとするとハマります、ええ。

橘圭伍「歩以外の駒を2回取って連打する上に9筋6回なので角はなさそう、と分かれば易しいかも」

■しかしその思いつきにすべて委ねる思い切りはなかなか出ないんじゃないでしょうか。事実、連打が王手じゃなくてもよければ角の方が手順豊富ですし。

占魚亭「97桂89角の2枚で詰ます事に囚われていたので苦戦しました。」

■2連続駒打ちの1枚目は取られるとふんだわけですね。

隅の老人B「3つ目の条件がないと、どんな余詰あるのかな？」

■例えば「王手で」がなければ「76歩、34歩、98香、92香、99角、同角成、68玉、89馬、77玉、94桂、68銀、99角」とか「76歩、34歩、96歩、94歩、97角、99角成、98飛、同馬、48金、68香、58金上、69飛」とか。連続駒打ち条件自体がない場合はもっといろいろありますね。

平井康雄「角とばかり思っていたら、桂で行くのがポイントでした。」

■歩と桂は案外足が速い、というのは推理将棋のマメ知識。

鈴木康夫「ヒント無しでは手も足も出ませんでした。」

■何を隠そう私も大苦戦を強いられました。

渡辺「9筋6回中4回を序の4手で稼ぐのは素直過ぎて意外。詰形も面白く上級に丁度良い問題かと。」

■たしかに言われてみると意外かも。

やまかん「9筋の条件と2枚の桂馬の着手が面白いですね。」

■攻め駒に桂が2枚あるのはめずらしくないのですが、この位置というのは私は初めて見たように思います。

S.Kimura「ヒントを見ましたが、97にいる角を取る前に他の駒を入手する手段が見つからず、解くことができませんでした。桂馬で取る?」

■97に既に角を動かしたものとして考えていると見つからなかったかもしれませんね。

正解：13名

斧間徳子さん ジェシーさん 鈴川優希さん
鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん
橘圭伍さん チャンプさん NAOさん は
なさかしろうさん 平井康雄さん やまかんさん 渡辺さん

総評

NAO「出題を早めるのは賛同します。最終ヒントも少なくともメ切り1週間前に欲しいところですよ。」

■そうですね。締切1週間前の13日くらいが妥当そう。

斧間徳子「今月は飛車は夏休みのようで、どこ

にも現れないですね。」

■と思いきや紛れとしては全ての問題でちゃんと絡んでいた。

はなさかしろう「今回はいつにもまして素晴らしい作品揃いですっかり満腹です。特に上級は解図に難航。日数に余裕があって助かりました。」

■私もこの上級は(検討と余詰返送期間を含め)2週間以上考えました。期間延長していなかったら出題を躊躇したかも。

チャンプ「今月は解答期間が長くなったとはいえかなり難しい3題でしたね。ヒントは如何に?担当の腕の見せ所ですね(笑)」

■という上級作者のプレッシャーをかけられた上での今月のヒント投下でした。

Chemical「最近、サイトを見つけて推理将棋に嵌りました。第68回かの問題にチャレンジしましたが、初級しか解けませんでした。」

■今月はよくも悪くもアクの強い3問でしたからね。第69回は今回よりかなり解きやすいだろうと思います。

鈴川優希「今回は初級から手間取りました。どの作品も一捻りしてあって楽しめました。次回も挑戦したいです。」

■よく言えば一捻り、悪く言えばマニア用な色が濃かった今回です。

橘圭伍「色々重なったのでヒントを見て解く。楽過ぎました。1題1分以内。これからもこうしたい所ですがなるべく自重します」

■ノーヒントで解ける人には楽しみを損なうだけでしょうね。

隅の老人B「連日の猛暑で思考能力はゼロ、まいった、まいった。それでも好きな道、眠れぬ夜は推理将棋を考える。あれもダメ、これもダメ。たったの9手が解らない。これで幾晩過ぎ

たやら。ああ暑い、暑い。」

■今年の猛暑は本当に参ります。担当もぐったり。

渡辺「今回は難問だったと思います。」

■解答期間増がどう影響するのか見ておきたかったもので……。

やまかん「今回3問ともヒントがなかったら解けなかったと思います。上級がヒントもかなり詳しかったし桂馬が好きな自分には易しかったです。出題期間を伸ばすというのがありました。自分の場合は締め切りぎりぎりです。トライするためあまり関係ないですね。締切日が月末にならないければ現状でなら不満はありません。」

■締切日はTETSUさんの都合もあってそうそう動かせませんし私も動かすつもりはありませんのでご安心ください。

しまぎろう「解答期間を延ばしてくださりありがとうございます!最終日解答ですが・・・投稿をして恩返しをします。これからもよろしくお願いします。」

■投稿とは、問題投稿ですか?それはぜひぜひ、首を長くしてお待ちしております。

推理将棋第68回出題全解答者: 19名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん Chemicalさん ジェシーさん しまぎろうさん 鈴川優希さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん 橘圭伍さん チャンプさん NAOさん はなさかしろうさん 平井康雄さん はらたつとさん ひろぼんさん やまかんさん 渡辺さん

「蔵書一代」という言葉を知ったのは随分前のこと。その頃はあまり実感はなかったのですが、年齢を重ねるにつれて、だんだんとやっぱりそうだよなと思うようになってきました。だからという訳でもありませんが、増える一方だった本も少しずつ処分するようになってきています。使っている本棚の数で言えば半分には減りました。ただ、需要がありそうなものから処分してきているので、だんだんと処分できるものは少なくなってきました。それでもまだ多少は値打ちがあるものが残っていると思いますので、以下簡単に紹介してみます。

◆詰将棋関係

この分野は結構処分済みで、残っている大物は、
・詰パラ 1961年1月号～

今でも600冊以上と大量にあるので、このまま持ち続けているとますます処分しにくくなりそうです。どなたか適価で引き取ってもらえませんか。詰将人で共有すべき財産でもあると思うので、なるべく一括で、かつ詰将人からの記載内容に関する問い合わせ等にも快く応じていただけるとベストなのですが。

◆推理関係

この分野も結構処分していますが、もとの多いのでまだまだたくさん残っています。その中でめぼしいものと言えば、

・白の恐怖／鮎川哲也

この希少性だけは家族もわかっているようです。しかし長編を支えるにはちょっとつらい内容なので、作者が再版を望まなかったのはよく理解できます。TPP交渉で著作権の有効期限が延長されたりすると、ますます日の目を見なくなりますね。

・わが懐旧的探偵作家論／山村正夫

幻影城評論研究叢書シリーズとして出版された箱入りのハードカバー。島崎博様という為書入りの著者サインがあります。島崎博は幻影城編集長。こちらのほうは興味のない人には、「だから？」でしょうかね。

◆SF関係

もともと数はないうえに、少し前にさっぱりと処分したので、ある程度まとまって残っているのは、野尻抱介と林譲治のものくらいですかね。ハードSFの次世代の担い手として期待していた二人ですが、最近はやっぱりですね。ちゃん

と仕事しなさいよ。

◆数学関係

この分野も結構処分済み。唯一めぼしいのは、
・幾何学大辞典 第1巻～第6巻
第1巻の「平面図形」しか見ていませんがものすごい集成です。第2巻～第6巻は博多の古書店で入手したと思います。確か帰省の途中で酒井さん宅に泊まったときで、たぶん手持ちの現金が足りなくて酒井さんに借金したんじゃないかなあ。2万円くらい。で、全巻揃ったと喜んでいたら補巻1、補巻2が出ていることがわかってがっかり。さんざん探すもどこにもなくて、再度がっかり。そのまま現在に至っています。

◆音楽関係

本はもともと少なく、唯一めぼしいのは、
・The History of Jap's Progressive Rock／ウエノヌメロ

結構な大作で日本のプログレバンドがマイナーどころ含めて収録されています。やっとな手に入れたらそれで満足してしまい、ほとんど読んでいません。プログレの興味が失せる前に読まなきゃとは思っていますが。

CDは500枚くらいはあります。ほぼプログレ。厳選して残しているので、聴き直すとやっぱりいいなあと思ってしまっただけで全然減らないので、最近タイトルだけ見て処分候補を選ぶようにしています。

◆余白があるので埋め草でも

安十字ばか自殺スタイルメイト6手

持駒 桂2

ルールがゲテモノな割には作意（ヒント：79×1,802,826,737）がこじんまりし過ぎていて投稿先に困っていた作。

安十字は安南の拡張版で、駒の利きがその駒の上下左右の枡にある味方の駒の利きを合成したのものになる。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

9月15日(日)

第54回 WFP 作品展

フェアリー作品 11作 推理将棋 1作

9月25日(水)

王手が9割

推理将棋 1作

10月15日(火)

第55回 WFP 作品展

フェアリー作品 13作 推理将棋 1作

作品募集締切一覧

10月15日(火)

Fairy of the Forest #37

課題：6種以上または2種の着手駒

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

詳細は P42 参照

10月14日(月)

「第39回神無一族の氾濫」作品募集

「第39回神無一族の氾濫」へのゲスト参加を募ります。

今回は募集テーマは特になく自由出品です。

ルール、手数、難易度等に関係なく、皆さんの自信作をお寄せください。

ただ1題は通常の協力詰(ばか詰)を出題したので、ばか詰枠を1とし優先して選題させていただきます。

募集締切	2013年10月14日(月)
募集作品数	4 + 1 (ばか詰枠)
送り先	神無七郎 (janacek789@yb.b.ne.jp) 上記宛先へ E-mail でお送りください。
備考	1人何作でも投稿可。 メールの件名に「作品投稿」の語を入れてください。 採否は10月21日までに通知します。

先月号の詰将棋メモの推理将棋出題日の件ですが、出題をちょっと早めてもらうのは難しいようですので、とりあえず WFP を 20 日に発行して発行して 22 日頃推理将棋出題時に追加アップする方向で行きたいと思っております。プリントアウトされる方は追加アップ以降でして下さい。

今月はお盆休み前に、第53回 WFP 作品展 B コース解図にどっぷり浸かっていました。解けそうで解けなかったのが 2 番の変寝夢作の Koko+pwc 協力詰。先月に1度余詰指摘したら詰んでなくて、今回解けたと思って解答送ったらこれまた指せない一手があり誤解でした。その後もありとあらゆる手を読んでもうこれ以上はないと思った。8 手目までは読んでいて次の 42 香生が全くの盲点。3 筋に香を持っていけばと考えていたのだが、この不成は全く考えなかった。これは参った。

それと同時に考えていたのが、一乗谷酔象作の「泣く金、マネーゲーム」これは構想が見破れずに完敗でした。詰上り 68 (88) 銀、69 玉型しか考えておらず 89 玉を考えていれば解けたのではないか・・・(負け惜しみ)

それにしても最近の WFP 作品展は内容の濃い作品群ばかりです。しかし解答する人あつての作品展ですので私を含めて解答者の頑張りを期待したいと思います。

たくぼん

2013年 第62号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十五年八月号

平成二十五年八月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先 takuji@dokidoki.ne.jp